特232
300

門司市の地理

門司教育支會編

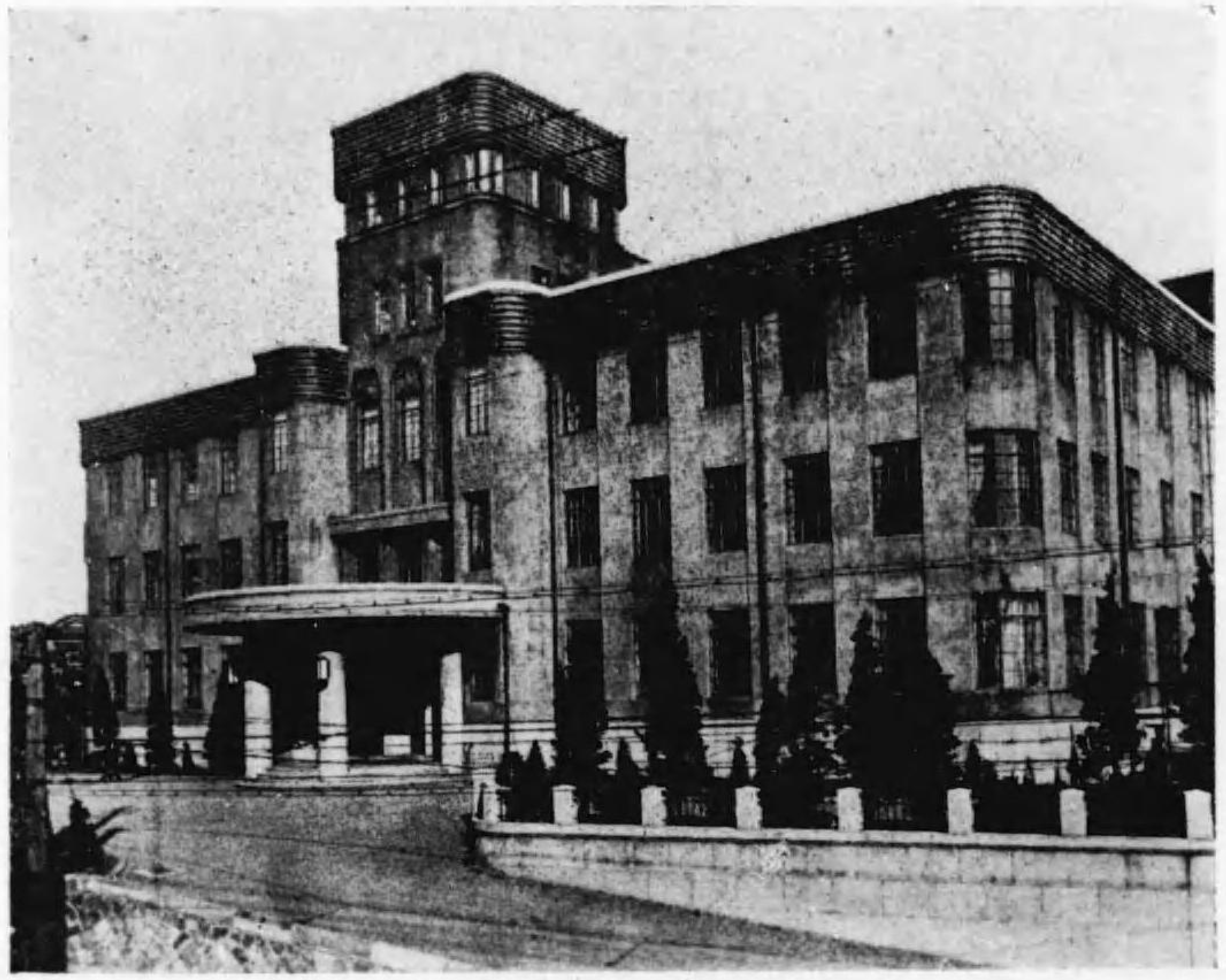
始

特232
300

門司市の地理

門司教育支會編

昭和十一年 一冊 本館



門司市役所

門司市歌

【一】

めかりの社　いつきます
早鞆（ハヤトモ）の瀬の　潮の香（カ）に
遠き昔も　しのばれて
歴史は古し　わが門司市

【二】

硯（スヽリ）の海の　深みどり
百千（モヽチ）の船の　行きかひて
内外（ウチト）の文化　花と咲く
榮はしるし　わが門司市

【三】

明けの戸上に　星てりて
しじまを破る　警笛（ケイテキ）は
さめよ起てよと　叫ぶなる
使命は重し　わが門司市

門司市附近地圖

昭和十四年六月十四日 下関要塞司令部許可済

門司市の地理

目次

第一　風師山よりの眺……一
第二　地　圖……四
第三　位置、面積、人口……九
第四　地勢、氣候……一二
第五　產　業……一八
第六　貿　易……二八
第七　交　通……三九
第八　市内めぐり……五三
第九　市民としての覺悟……七三
附錄（自習問題）……（一）

門司市の地理

第一　風師山よりの眺

私たちのすんでゐる町や港の景色を眺めるのに一番よいのは風師山である。此の風師山の頂上の岩に腰をおろして四方を見渡すと、町も海も山も一目に見える。眼下にはセメント工場の煙突や、稅關・三井物產・郵船會社・立並ぶ倉庫等の建物がとくに目立つて見える。棧橋通を通つてゐる電車や自動車が豆つぶのやうに見える。眞向かふには山口縣の彥島とそ

れに續いて下關の町が見える。此の下關との間には大小樣々の船が浮かんでゐる。これが私たちのほこりとする門司港である。

稅關の岸壁についてゐる船は大連行きであるが天津・青島行きの船もつく。向かふの煙をはいてゐる二本煙突の船は臺灣行きの高砂丸で、その右側の船は歐洲航路の白山丸である。あまり大きくは見えないが共に一萬噸もある大きな船である。巖流島の近くを兩側に水車のやうな輪のついた船が通つてゐる。あれは航送船で貨車を乘せて下關と門司との間を往復してゐる。

北の方には古城山・筆立山が小高く見える。古城山のふもとの海につき出てゐる所が和布刈の鼻で下關に一番近い所である。東の山の向かふには白野江の海岸が見える。その右手が大積・喜多久の海岸で遠足や海水浴に出かける所である。ここから見ると我が門司市は三方海にかこまれて、海岸の出入が割合に多いことなどがよくわかる。

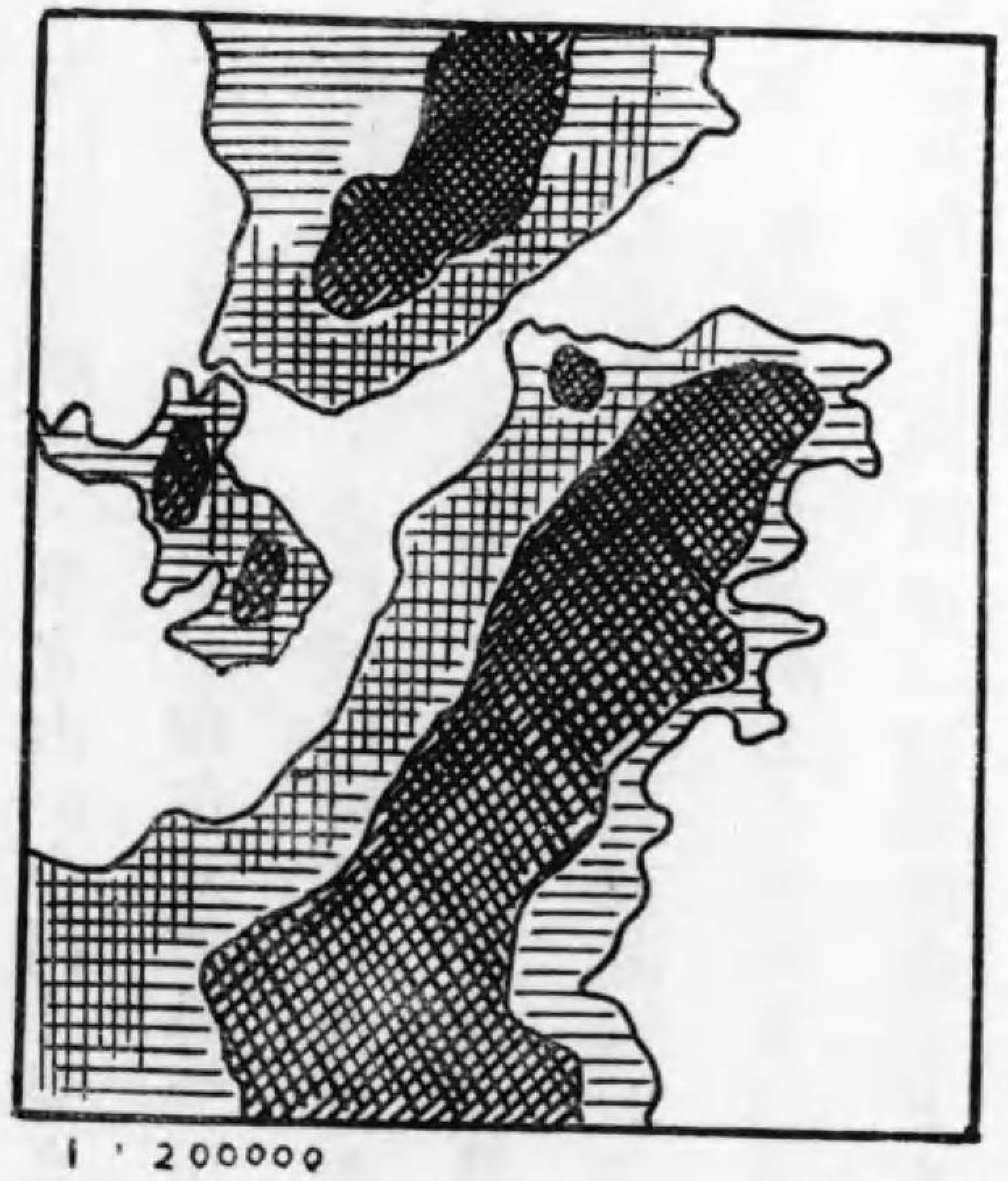
後を振り向くと、向かふに風師山よりも高い戸上山がつき立つてゐる。その間には谷があり又所々に田畑がひらけてゐる。此の戸上山より南の方は企救郡松ヶ江村である。更に大里の方を見ると汽車・電車の線路が海岸にそふて眞直ぐに西

に走り、其の兩側には人家や大工場が立並び盛に黒煙が上つてゐる。風師山からの眺めは何といつても門司のほこりで、非常によい景色である。

第二 地圖

今かりに飛行機に乘つてずつと高い所から見下ろした景色をかんたんに書くと第一圖のや

第一圖

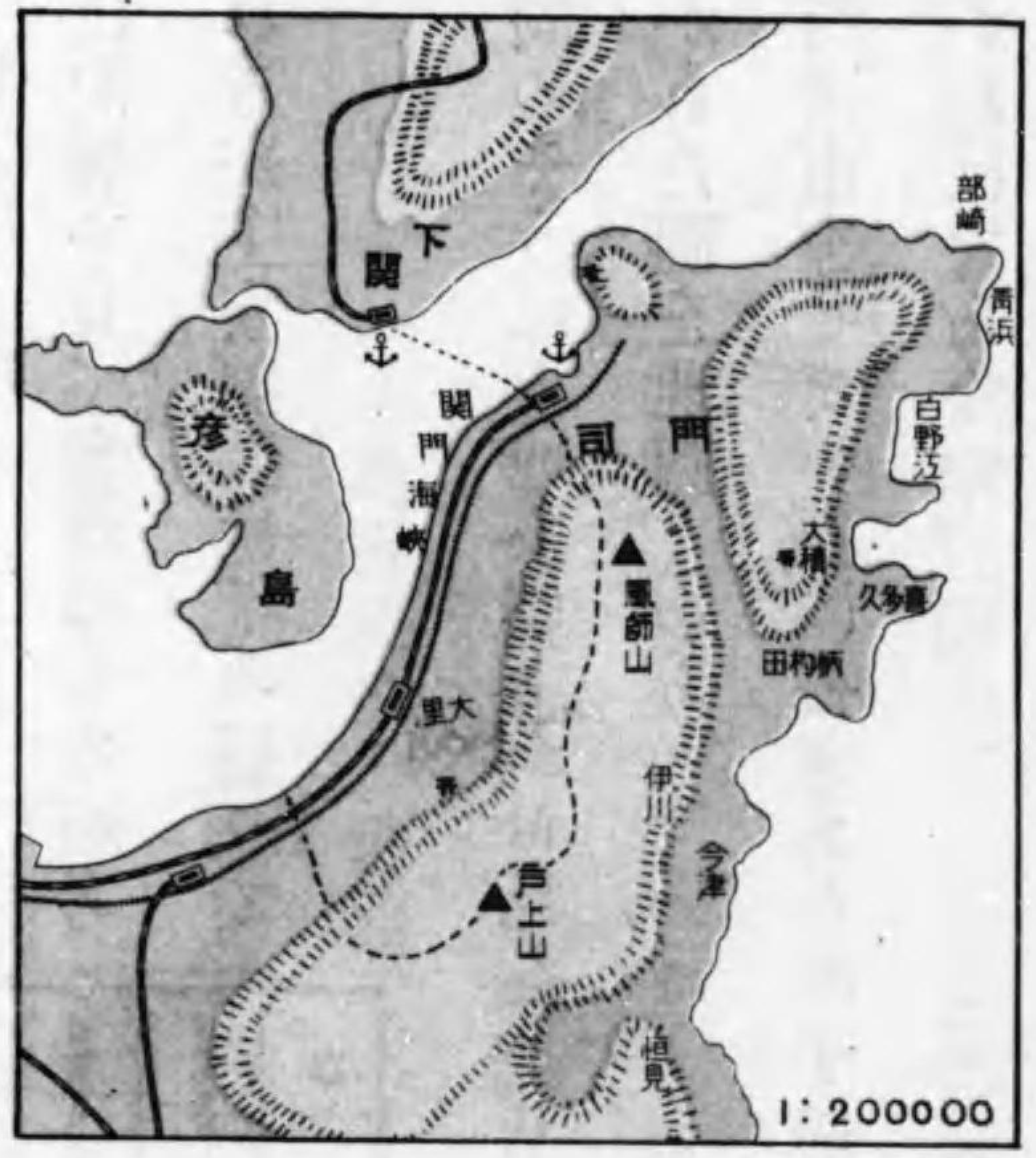


うになる。

しかし此の圖では山の高い所も低い所も皆同じでよくわからない。

それで實際の土地の高低や海の深さを一そうわかりやすくする爲に、第二圖のやうに高い所を土色低い所を綠色に海は青色であらはし淺い所をうすく深い所程こくぬる。又道路や鐵道・燈臺等を色々なしるしによつて

第二圖



記號

書きあらはすとつがふがよい。

この記號はなるべく實物をかたどつて作つたもので、少し注意さへすれば記號を見て實際のものが考へられるが主な記號は下の通りである。

境界線	古戰場
停車場鐵道	開港場
同未成線	山地
隧道及道路	平地
電車	川
燈臺	神社佛閣

縮尺

第二圖のやうに土地を眞上から見たとして色々の記號によつて書かれた圖を地圖といふ。

廣い門司市をせまい紙に書きあらはすにはどうしてもちゞめて書かねばならない。

1 : 500000

1 : 1000000

第二圖の下に1:200000とあるのは實際の距離にくらべて二十萬分の一にちゞめてあるといふことをあらはしたもので、これを二十萬分の一の地圖といふ。第三圖は五十萬分の一の地圖である。それで地圖によつて實際の距離を知るには、物尺ではかつた長さをちゞめただけもとへもどさねばならない。たとへば門司驛と大里驛との間をはかつて見ると二十五ミリメートルであるが、これは二十萬分の一の地圖であるから二十五ミリメートルに二十萬をかけた

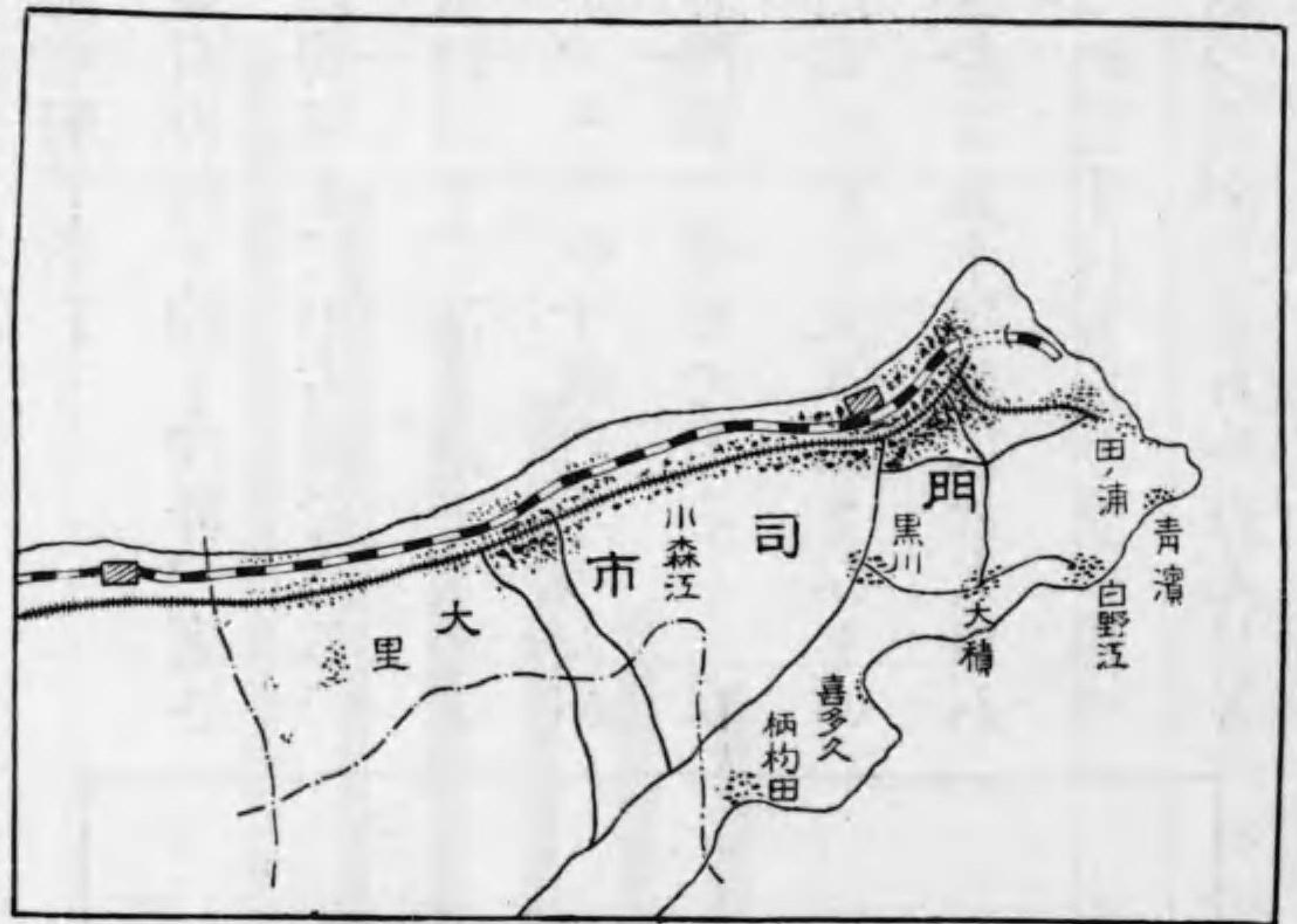
方位

五粁が實際の距離である。しかし地圖の上で距離をはかるには、前のやうに手間のかゝる事はしなくても、縮尺をつかへばよい。縮尺は實際の長さを地圖と同じ割合にちゞめた尺で、これをつかふとおよその距離をすぐはかる事が出來る。

地圖を見て方位を知る事は大切で、旅行する時地圖を見て其の方角がわからなければ役に立たない。それで地圖の上ではやくそくによつて、ふつう上の方が北で、下の方は南、右が東で左が西といふやうにきめられてゐる。したがつて東西南北の間の方位はそれぐ北東・南東・北西・南西

位置

人口の多少をあらはした圖



といふ。

第三　位置・面積・人口

門司市は九州の北東端にあつて關門海峽をへだてゝ下關市と向かひあひ、西は小倉市に、裏門司の方は企救郡松ヶ江村につゞいてゐる。九州の玄關口をなしてゐるが西日本の玄關としても重

要な所である。

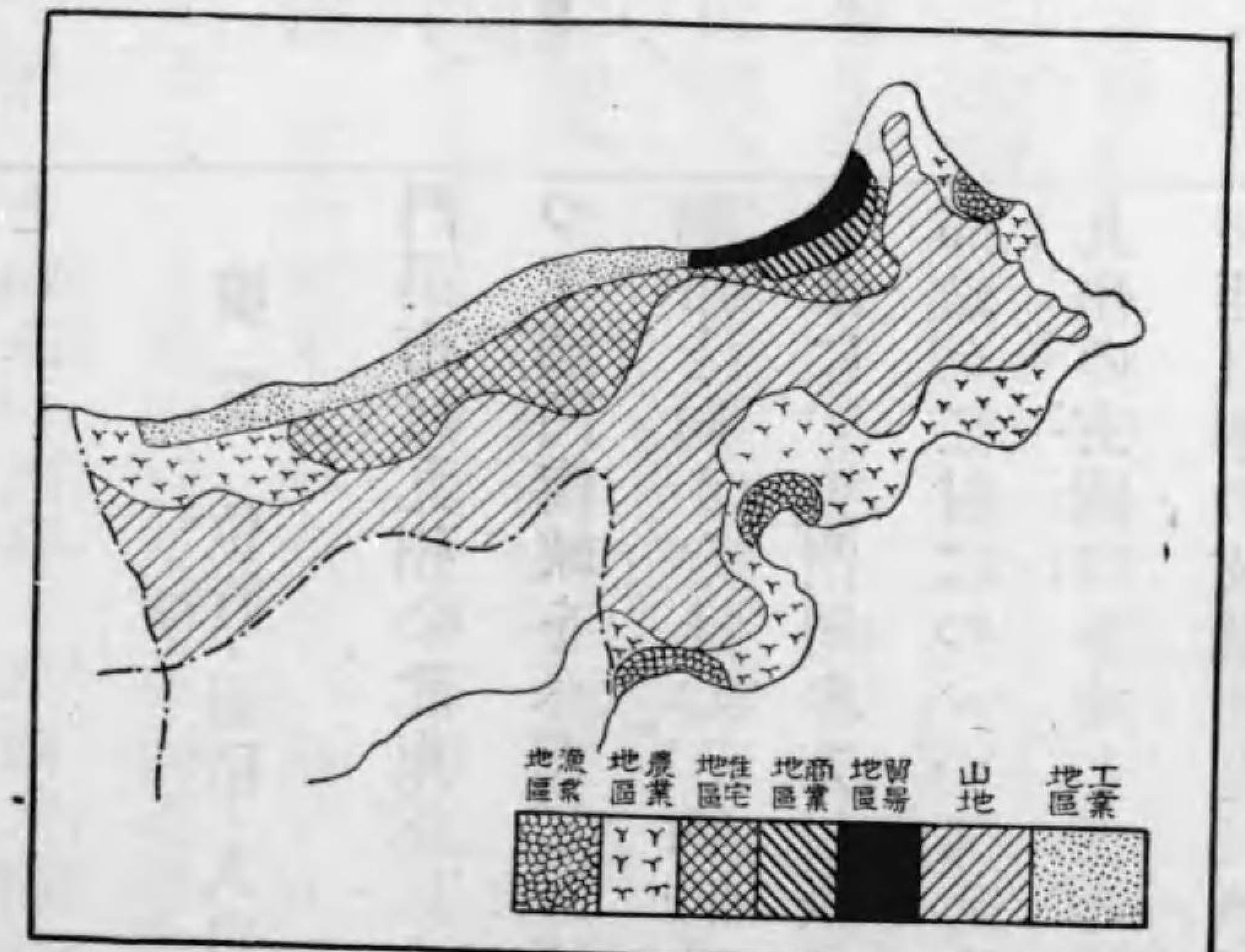
面積

東西の長さ約十四粁、廣さは約四十二平方粁である。

人口

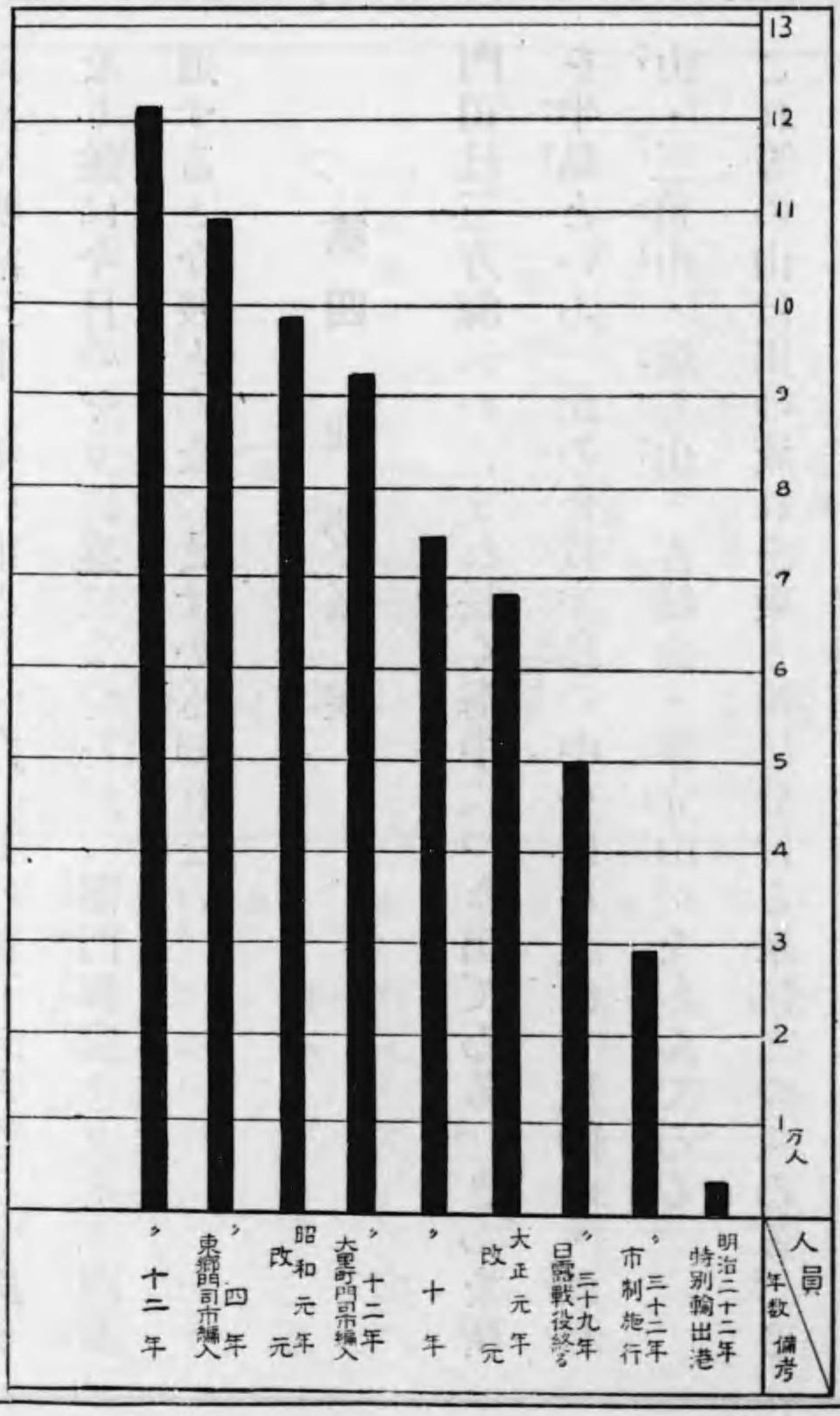
人口は十二萬を越してゐるが、その中十萬以上の人が表門司に住んでゐる。

門司も昔は大へんさびしい漁村で五十年前には人口わづか三千にもたりない程であつたが、それがだんだん



産業地域別圖

年別の人口表



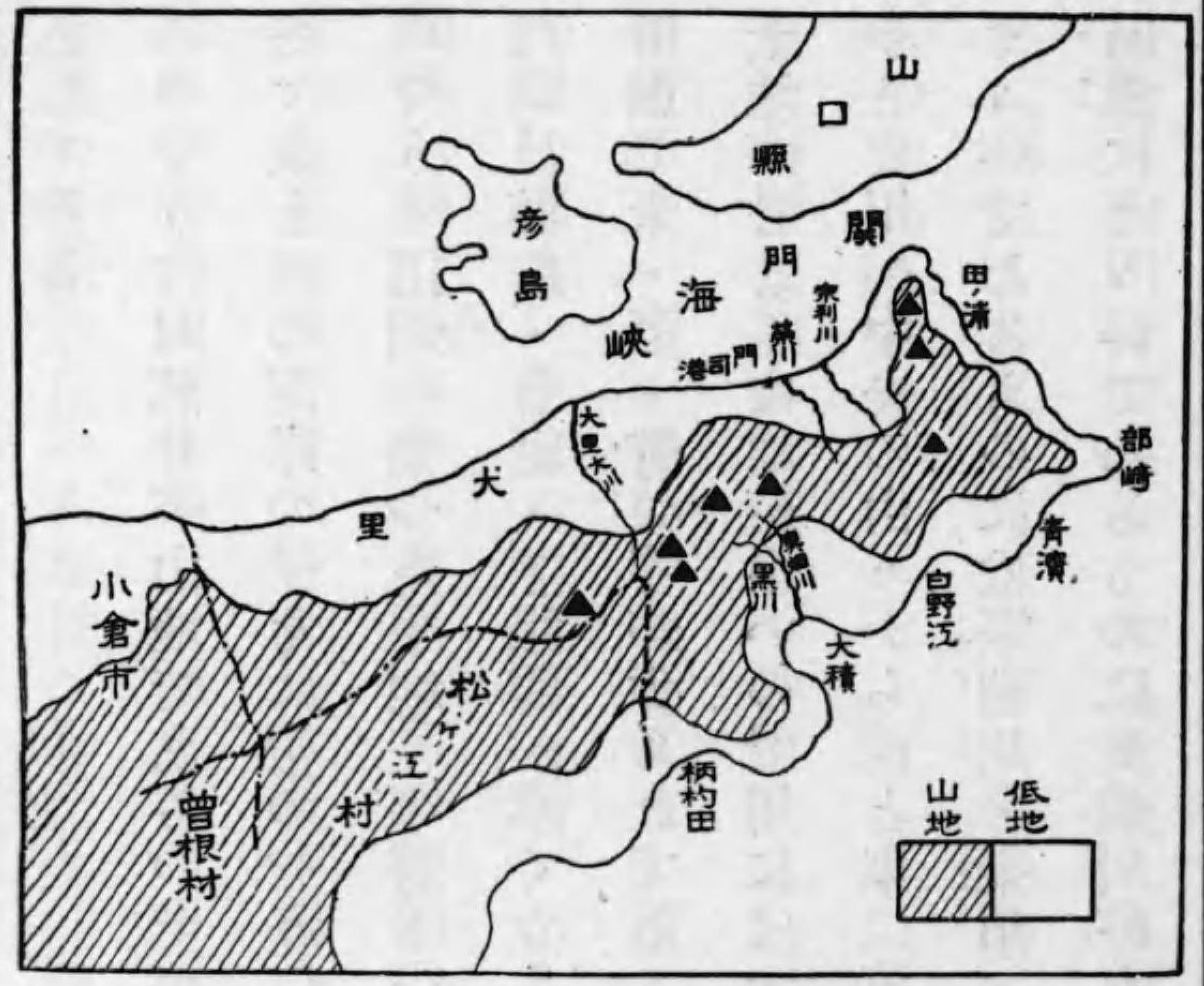
ふえて明治三十二年に市となつた。其の後五萬となり十萬となり遂に今日のやうに盛になつたが、關門海底トンネルが開通すると今後どんなにますかも知れない。

第四　地勢・氣候

山地

門司は三方海にかこまれ長く海中につき出てゐる。こんな所を半島といふ。此の企救半島の中央に戸上山・風師山・砂利山・三角山・廣石山・古城山・筆立山がならんでゐる。

これ等の山は川の流れを東と西に分ける峯になつてゐる。このやうな山のつらなりを山脈といひ、いづれもあまり高くは



地勢略圖

ないがかたむきが急で海岸にせまつてゐる。

そのために町は山のすそに形づくられてだん〱山へ山へと進んで、家がかいだんのやうに立ちならび町が谷から谷へと入り

込んでゐる。

平野

このやうに大部分が山地であるので平地はいたつて少ない。たゞ東と西の海岸のすそに帯のやうに細長い平地がある。このやうな田畑の集つた平地を平野といふ。この平野の中、表門司は商店・會社・工場等が多く立ちならび、裏門司は主に田畑で米・麥・野菜等が作られてゐる。

河川

土地がせまく山地が多いので川には大きいものがない。たゞ小さな川が中央の山々から西と東に流れてゐる。關門海峡にそゝいでゐるものには宗利川・榮川・大里大川等があり、周防灘にそゝいでゐるものに奥畑川がある。此の中の一番長い

川でも約四粁である。大里大川・奥畑川は田畑をうるほすために利用されてゐるが、其の他の川は下水流しに役立つ位のものである。

海岸

東の海岸は割合に淺くて砂濱をなし、又所々に磯濱があつて景色のよい所が多い。白野江・大積・喜多久・柄杓田・等は一日の濱遊びをするのによい所である。

關門海峡の幅の一番せまい所は早鞆の瀬といつて潮の流れが大へん速いので有名である。最も速い時は一時間に十二粁も流れ、我が國でも第二の潮の流れの速い所で水面に大小の渦を巻いて流れてゐる様はほんたうに物すごい。又小さな船は

氣候

こゝを乘りきるのによほど骨を折つてゐるが、反對に流れにそうて進むと矢のやうに速い。

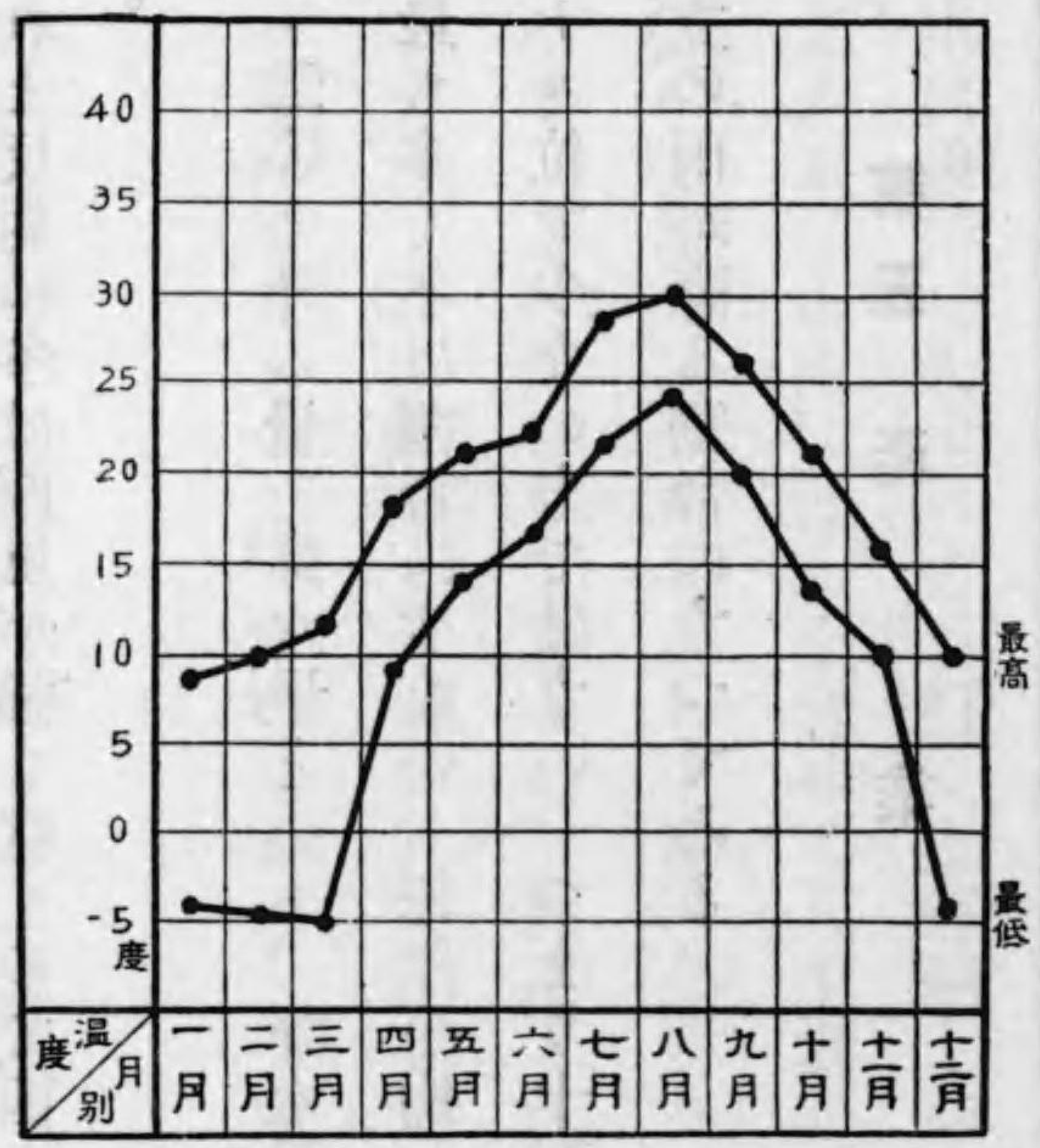
西の海岸は深さが平均十メートル位で築港も出來上り港としてはりつぱな所で、大小の汽船が毎日幾さうとなく出入してゐる。

燈臺もたくさんあるが有名なのは部崎の燈臺で海上三十粁を照し航海者に大へん便利をあたへてゐる。

測候所では天氣・溫度・風の速さや方向・雨や雪の降る量等を毎日はかつてゐる。これによつてその土地の氣候を知る事が出來る。

（氣溫）

氣溫表（昭和十二年度）



室外の溫度を氣溫といふが、一年中で氣溫の最も高いのは八月で最も低いのは二月であるが、一年間の平均溫度は十六度位で、最も高い時は三十五度に上り、最も低い時は零度以下六度に下ることもある。

（風）

天氣のよい日は朝東風が吹き、晝を過ぎると急に北西の風に

かはる事が多い。夏はとくに東風が吹くが、中央に山地があるので東海岸は大へん荒れてゐても西海岸は靜かである。これと反對に冬は西風が強く吹くので西の海は荒れる事が多い。

（降水量）

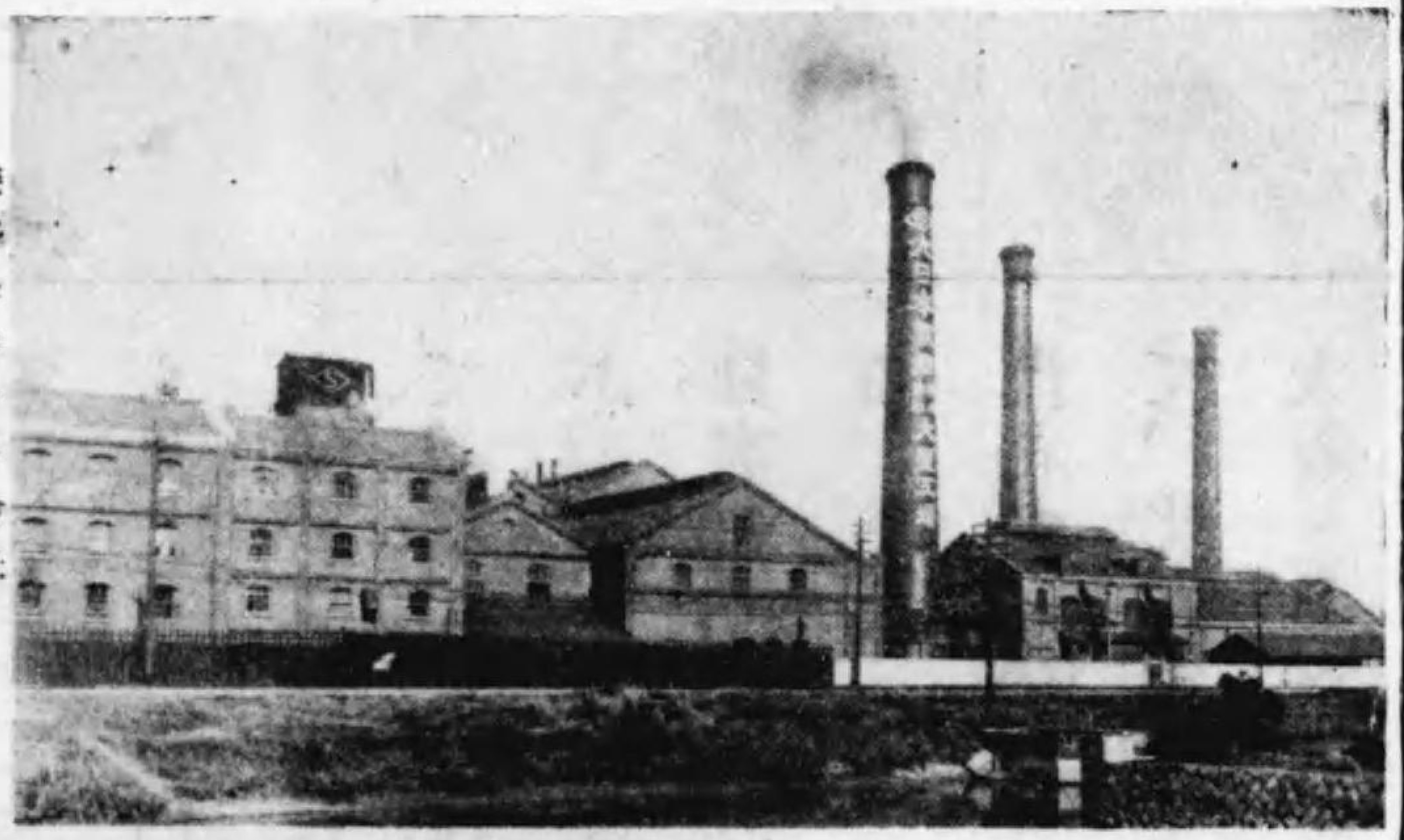
雨・雪等の降る量を降水量といふ。降水量は六月と九月の頃が最も多く冬は割合に少ない。毎年平均およそ千六百ミリメートル位で少ない方ではない。つまり十糎眞四角の廣さに十六立の雨が降る割合になつてゐる。

第五　産業

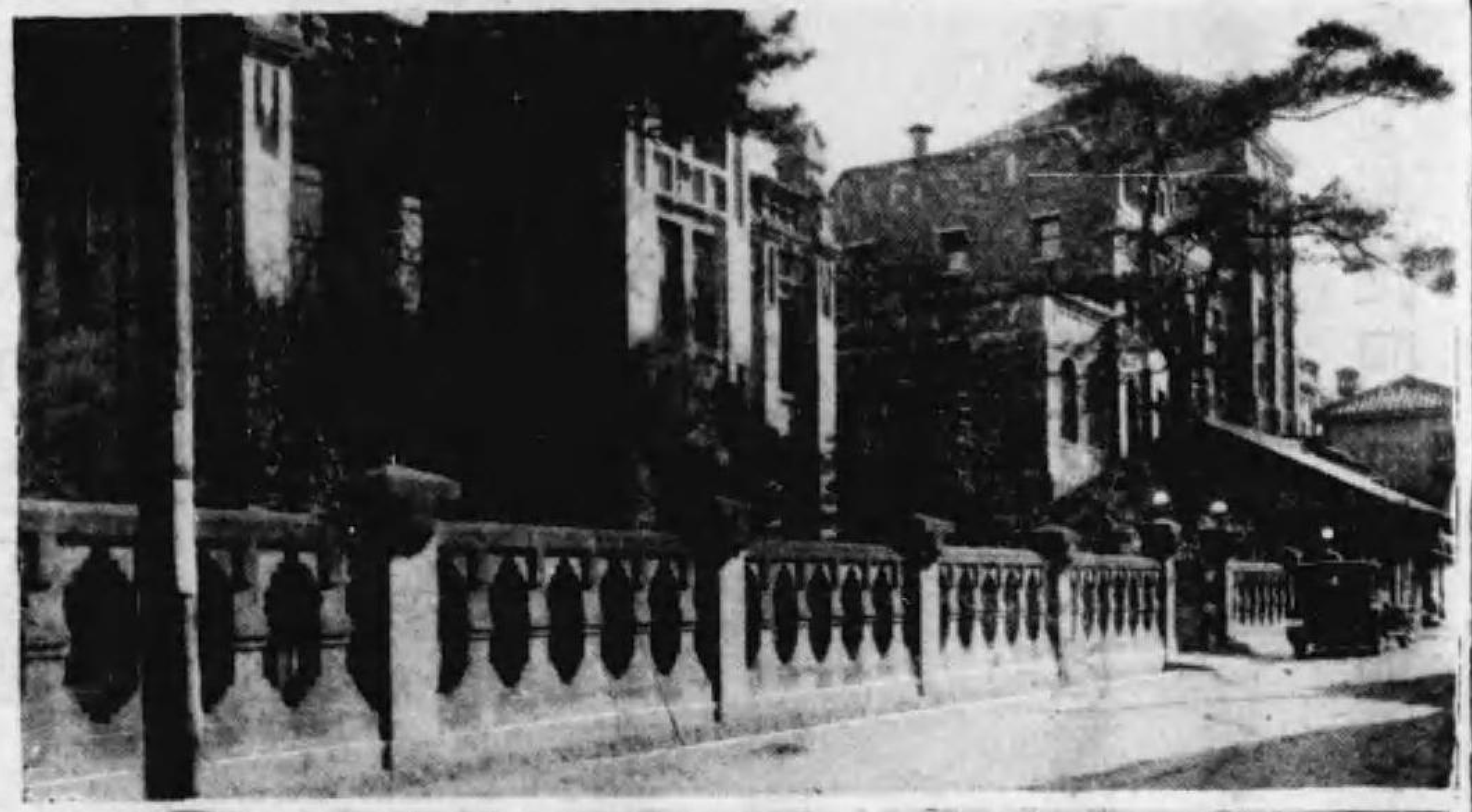
工業

電車に乗つて大里の方へ行くと窓越しに大きな工場がいくつも見える。市内には大小合せて八十近くの工場があるが、これ等の工場では原料品から生活に必要な種々なものを製造してゐる。この仕事を工業といひ製造された品物を工産物といふ。主な工場は淺野セメント・大日本製糖・サクラビール・日本製粉等であつて、その産額は一年間八千萬圓を越えてゐる。

門司から小倉・戸畑・八幡方面には驚く程多くの工場が續いて、北九州の工業の盛な區域になつてゐる。我が國で東京・大阪・名古屋附近と共に四大工業地として有名である。

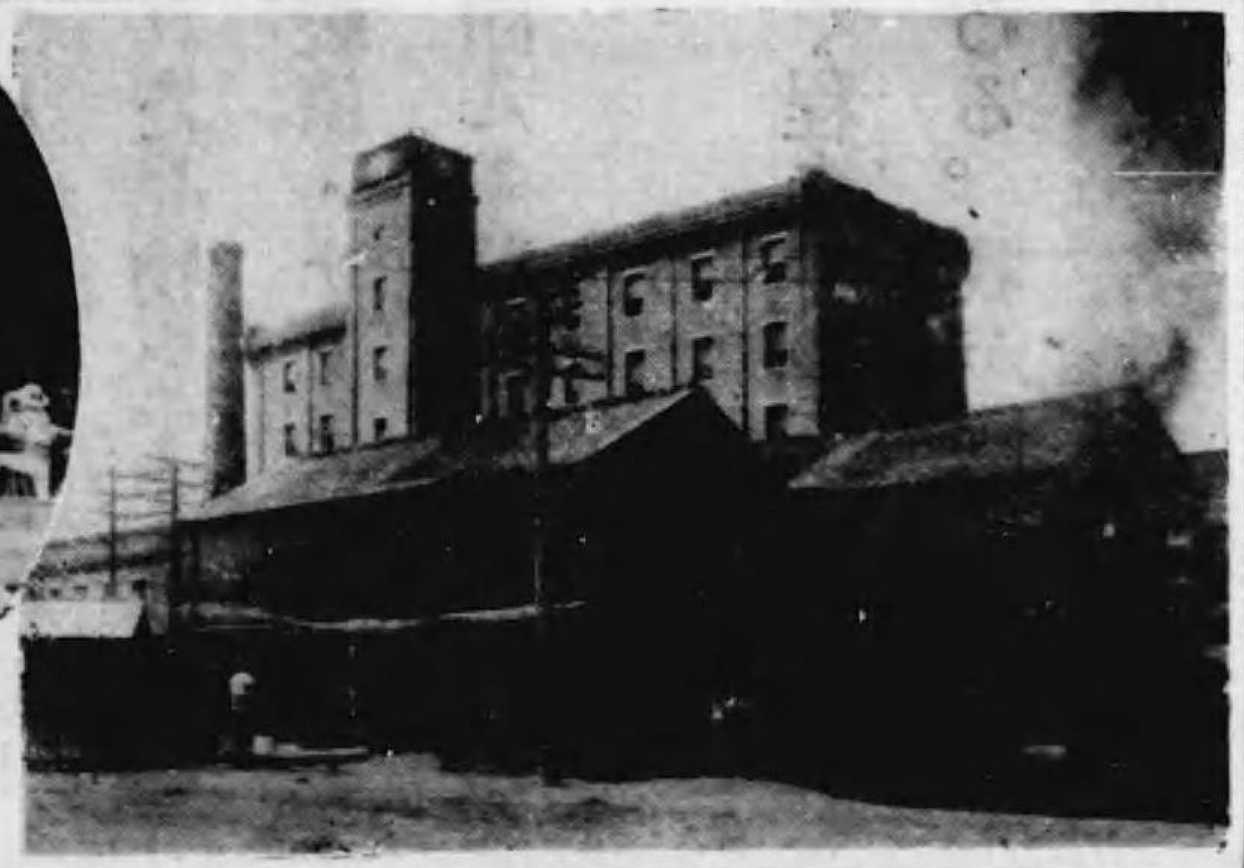


淺野セメント會社



サクラビール會社

製品倉庫



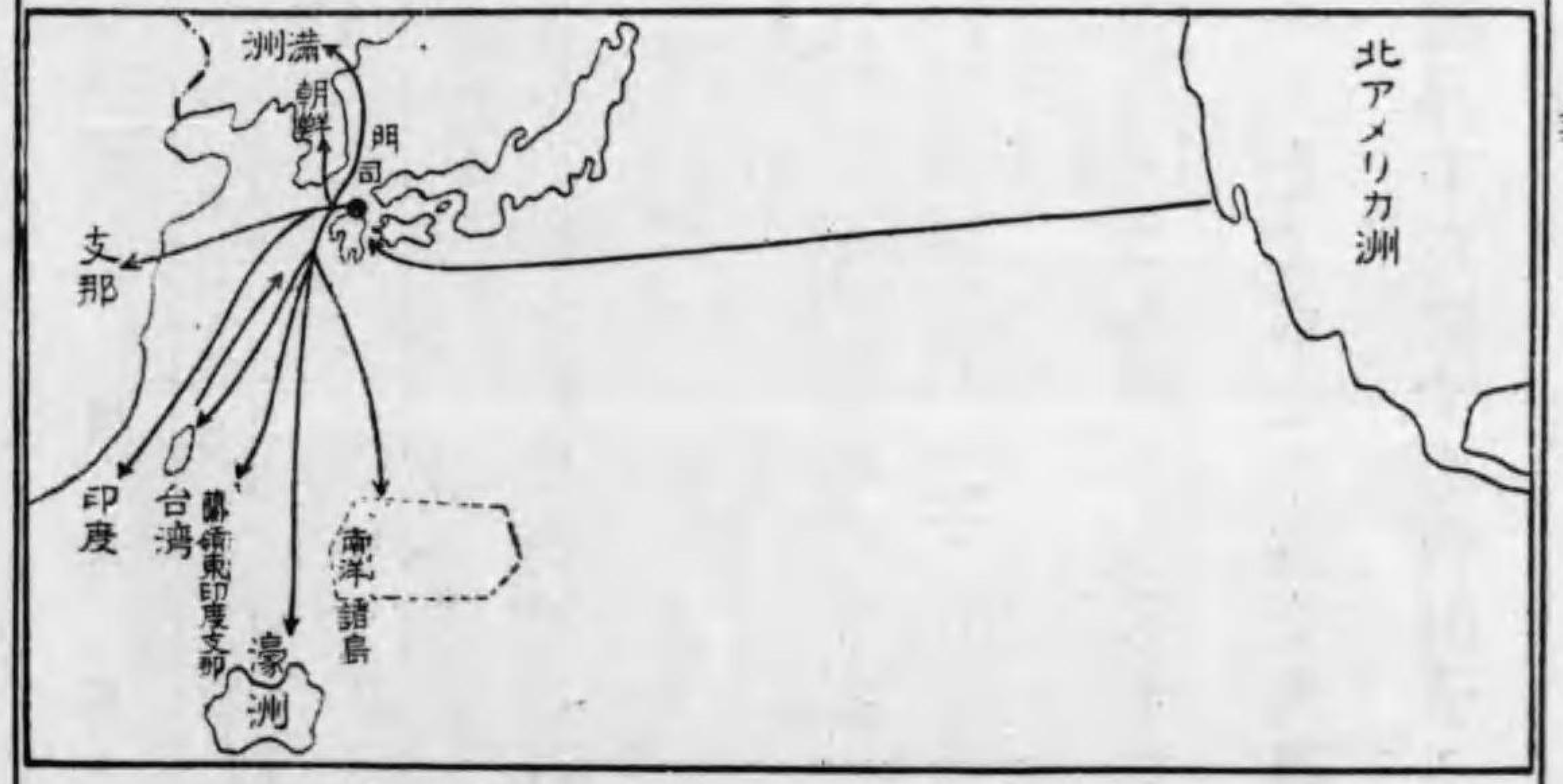
日本製粉門司工場

主要工場表（昭和十一年度）

工場名	所在地	年産額	原料供給地	販路
淺野セメント株式會社門司支店	白木崎	二八、二九六瓩 四、三八七、六八八圓	折尾、刈田、東谷村（石灰岩）	九州、中國、關西、北陸、關東、南洋
大日本製糖株式會社大里工場	大里	七一、七七五瓩 一四、五五一、七六六圓	臺灣（粗糖）	支那、朝鮮
サクラビール株式會社	大里	二、〇〇六、六二六打 六、〇一九、八四八圓	ドイツ（ホツプ）關東、山口、佐賀（大麥）	關東、關西、九州、支那
日本製粉株式會社門司工場	小森江	小麥 二、一八九、三〇〇袋 九、三八七、一三〇圓 麩 二六三、八八三袋 九五四、六五六圓	米國、濠洲（小麥）	九州、中國、朝鮮、臺灣、支那
大日本酒類醸造株式會社大里工場	小森江	燒酎酒類 三、三四五、八四三圓	鹿兒島、宮崎、長崎、臺灣（いも）	内地、朝鮮
日本冶金株式會社門司工場	小森江	タングステン線 モリブテン 一、六七二、〇〇〇圓	京都、朝鮮（鑛石）	内地

門司市の工業がどうして盛になつたかそのわけを考へてみると、原料は上の表でわかるやうにほとんど市内には出來ないが、船や汽車等の便利がよいので、内地はいふまでもなく遠く外國から買入れるのにつがふがよい。又製品をたやすく賣出すことが出來る。

取引をあらはした圖



製品比較表

（昭和十一年度）

73,000,000圓

次に機械を動かす力になる石炭や電力もたやすく得られる事等工業を起こすのにつがふのよい事が多いからである。

商業

このやうに工業が盛であるため、工業の原料や製品を第一に種々の品物の取引が盛に行はれてゐる。したがつて商人が大へん多い。此の商人のする仕事を商業といふ。

ことに汽船を相手とする石炭商・賣込商は港だけに見られる商業である。

市内で一番商業の盛な所は榮町・内本町・日ノ出町筋で、吳服店や雜貨店が軒をならべてゐる。又停車場附近から棧橋通西本町・東本町筋の電車通にも大商店がある。

初めて門司驛に降りた人は驛前の賣店で、バナナや色々の果物をきれいにならべて客を呼んでゐる有樣と、堀川通にある

其の他の產業（水產業）

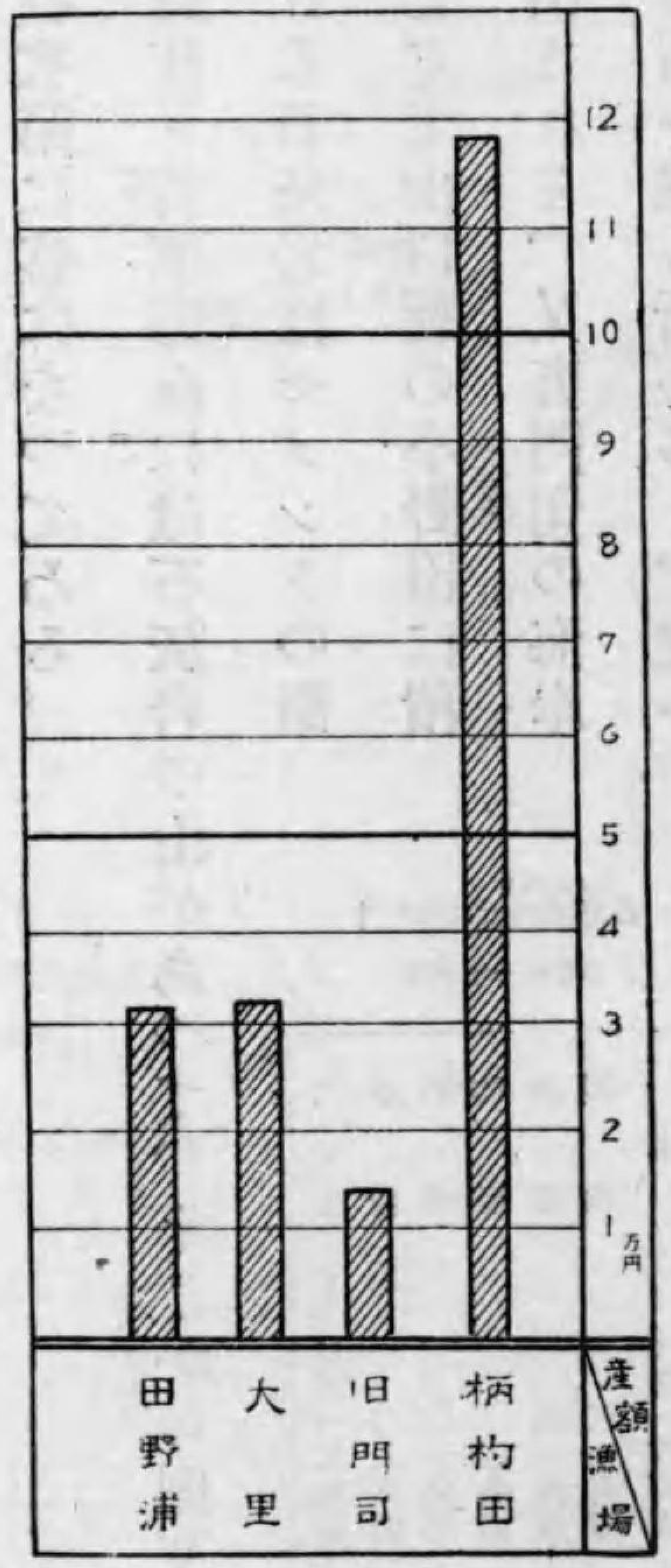
バナゝ問屋が、臺灣から來た青いバナゝを店先で籠につめて、山のやうに車や自動車で運び出してゐる有樣に目をひかれるであらう。

海や川等の魚貝をとつたりふやしたりする仕事を水產業といふ。

柄杓田・田野浦・舊門司・大里方面ではいか・ぼら・たこ

農業

水產物年產額表（昭和十一年度十九萬圓）



たひ・このしろ等がとれる。これ等はほとんど市民の食用となつてゐるがたりないので他の地方から買入れてゐる。

又うにとわかめとは門司の名物になつてゐる。

私たちの食物の中、大切な米・麥・野菜等をつくる仕事を農

業といふ。けれども平野が少ないのであまり行はれない。

大里・大積・田野浦方面には米・麥・野菜がとれるが、どれもわづかで市民の食用にはたりない。それで多くは本縣の南部・佐賀縣・山口縣・朝鮮等から送られる。しかし野菜づくりは次第に盛になつてゐる。

鑛業

白野江・青濱方面には石灰岩の山があつて、そこから掘り出される石灰岩はセメントの原料として山口縣の小野田に積み出される、又裏門司の海岸には石を掘る所が多く、遠い

門司市生産額表
（昭和十一年度）

工産	七三一九萬圓
農産	二九萬圓
畜産	一一萬圓
林産	二萬圓
水産	三一萬圓
鑛産	二一萬圓
計	七四一四萬圓

工場及び水産物をあらはす圖

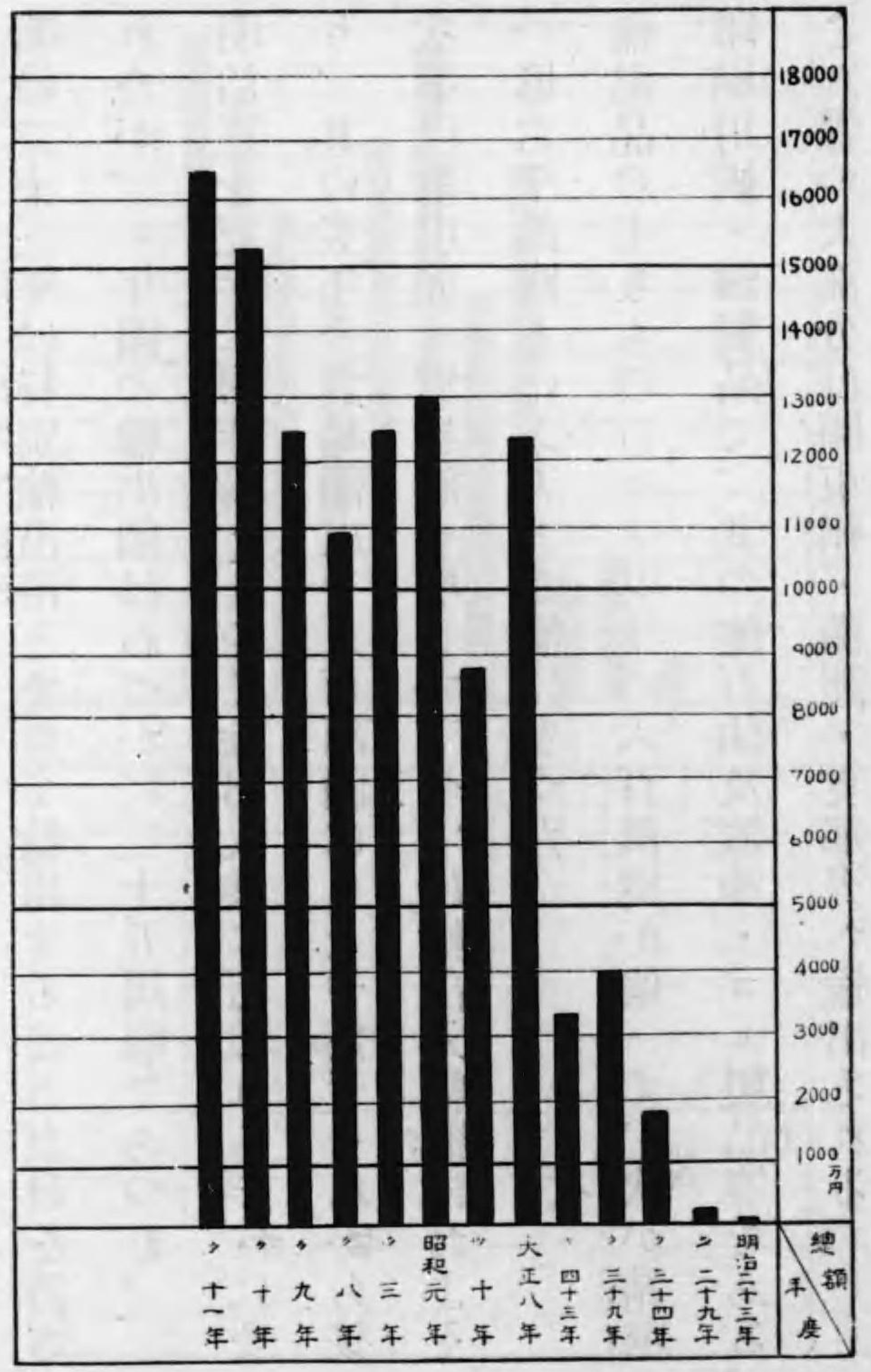
外國貿易

所まで送り出されてゐる。このやうに岩石や鑛石を掘りとる仕事を鑛業といふ。

第六 貿易

商業の中で國と國とが品物を取引することを貿易といひ、外國に品物を賣出すことを輸出、買入れることを輸入といふ。

門司港は我が國の西の門戸として重要な貿易港である。各國から色々な原料品や製品を輸入し、又外國に色々な品物を輸出する。その上近年北九州の工業が盛になるにつれて貿易額も年々次第に増してゐる。



外國貿易總額年別比較表

（貿易額）

明治二十三年に特別輸出港となつて輸出することだけを許されたが、一年間の輸出額はわづかに三十五萬圓であつた。

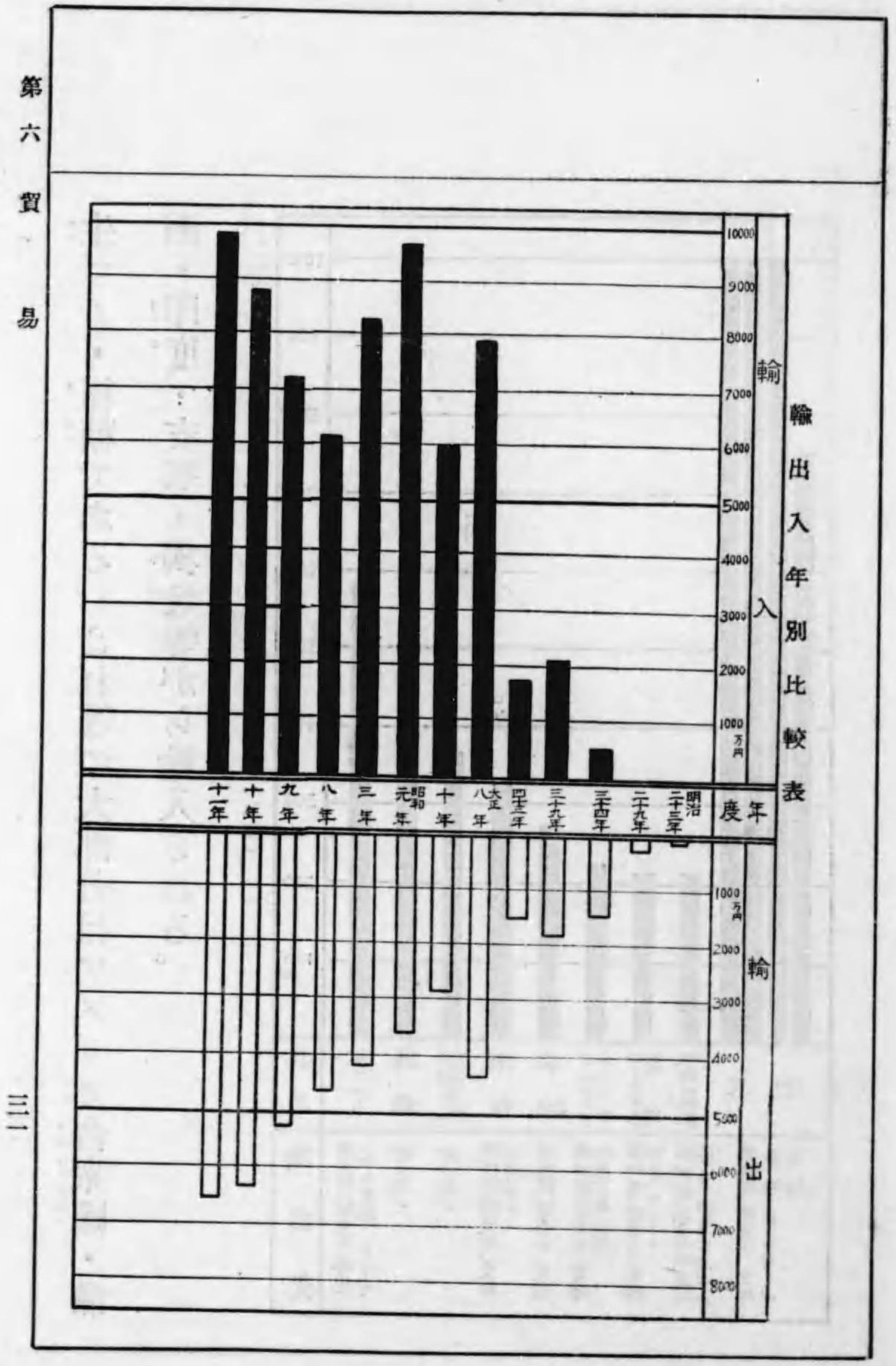
明治三十三年に開港場となつて輸出入共に行はれるやうになり、其の翌年の貿易額は千九百萬圓にも上つた。それから後次第に取引先も貿易額も增して、今では輸出入總額はおよそ一億六千萬圓といふ大きな額になつた。

輸出品

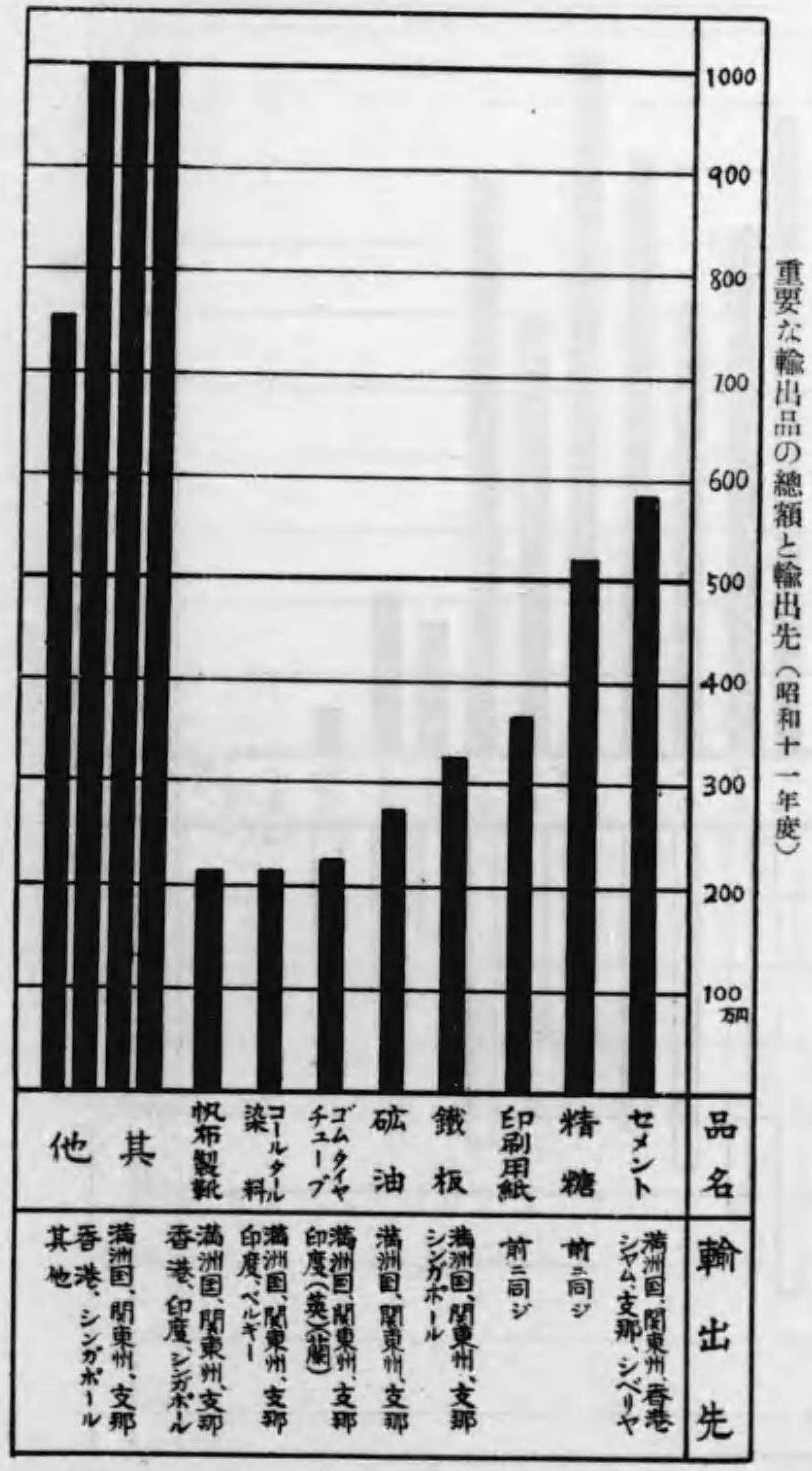
輸出品の主なものはセメントの六百萬圓が第一で、次が精糖印刷用紙・鐵製品で、其の他石油及鑛油・ゴム製品等である、これ等の大部分は關東州・滿洲・支那等へ輸出される。

輸入品

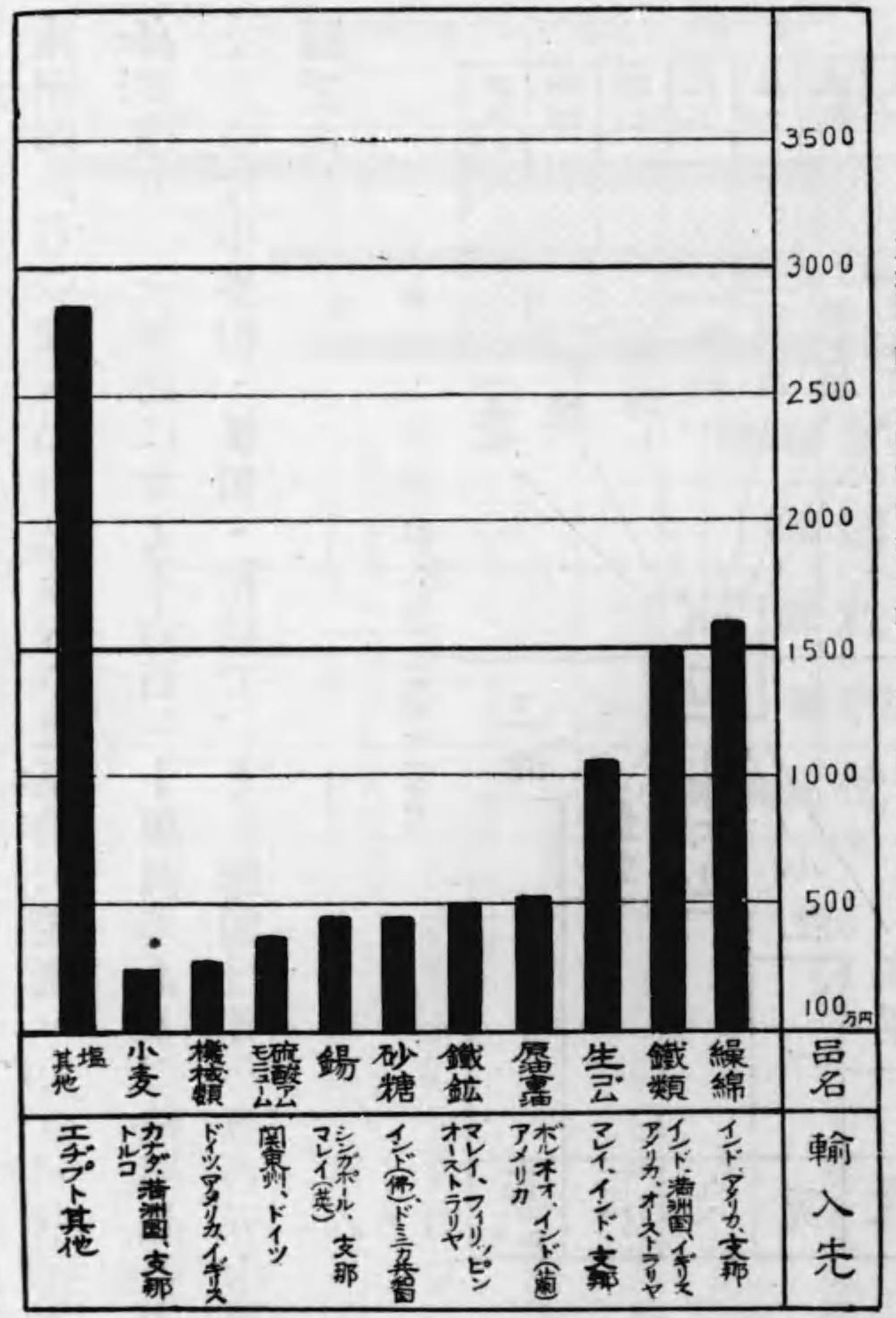
輸入品の主なものは繰綿の千六百萬圓が第一位で、次が鐵類



生ゴム・粗糖である。これ等の大部分はアメリカ合衆國・滿洲・印度・支那・獨逸等から輸入される。



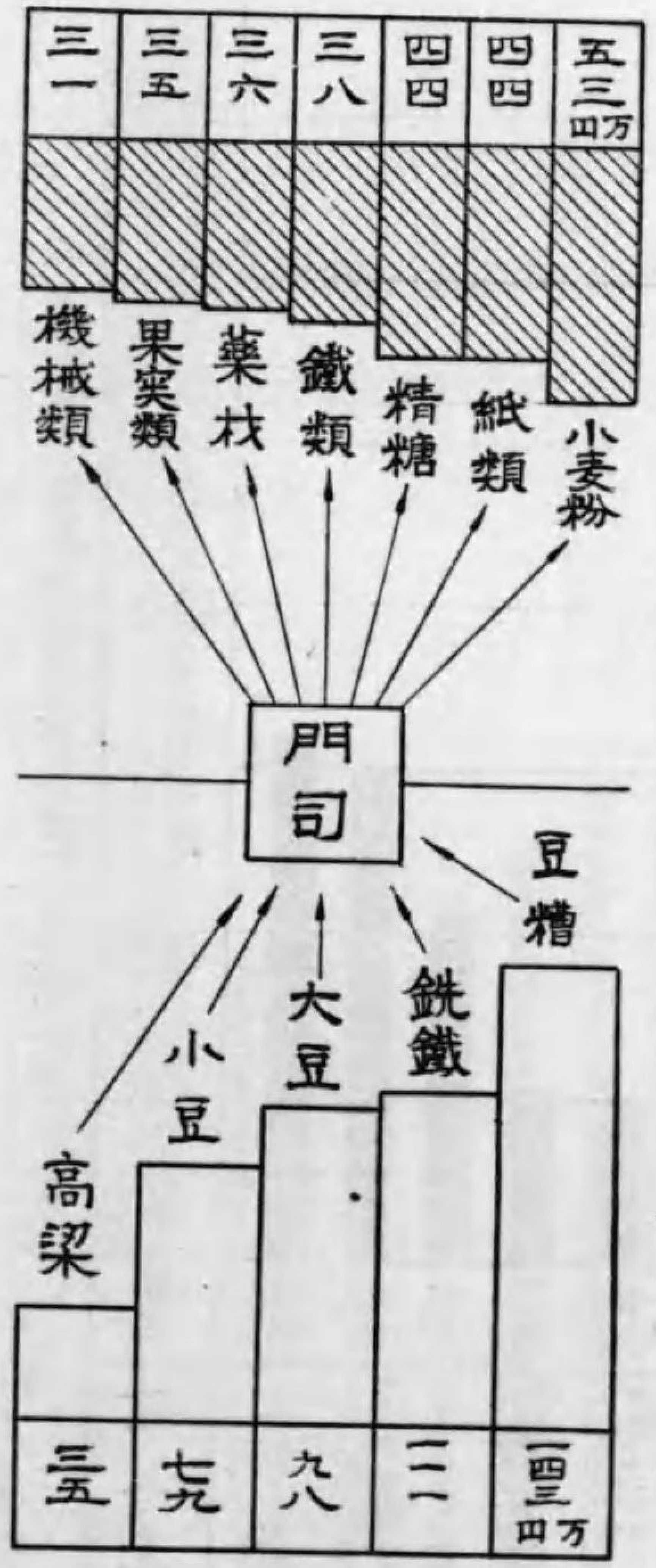
重要な輸出品の總額と輸出先（昭和十一年度）



重要な輸入品の總額と輸入先（昭和十一年度）

門司と滿洲國

滿洲國からの輸入品の主なものは豆粕・鐵類・大豆・小豆・高粱等で、一年間におよそ六百三十萬圓であり、輸出品の主なものは小麦粉・紙類・精糖で、その總額は凡そ五百五十萬圓である。

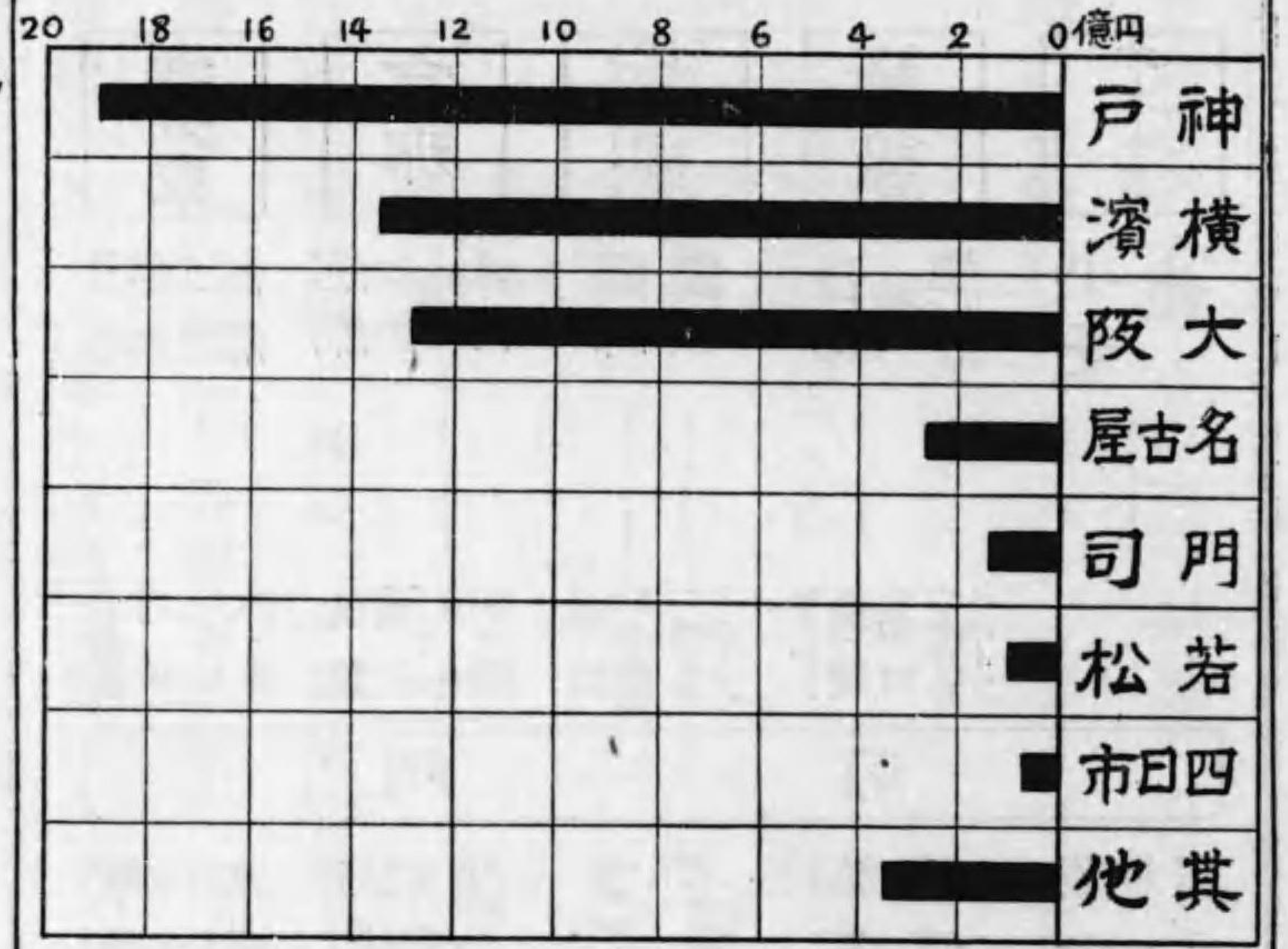


滿洲國との輸出入表（昭和十一年度）

內國貿易

門司と臺灣

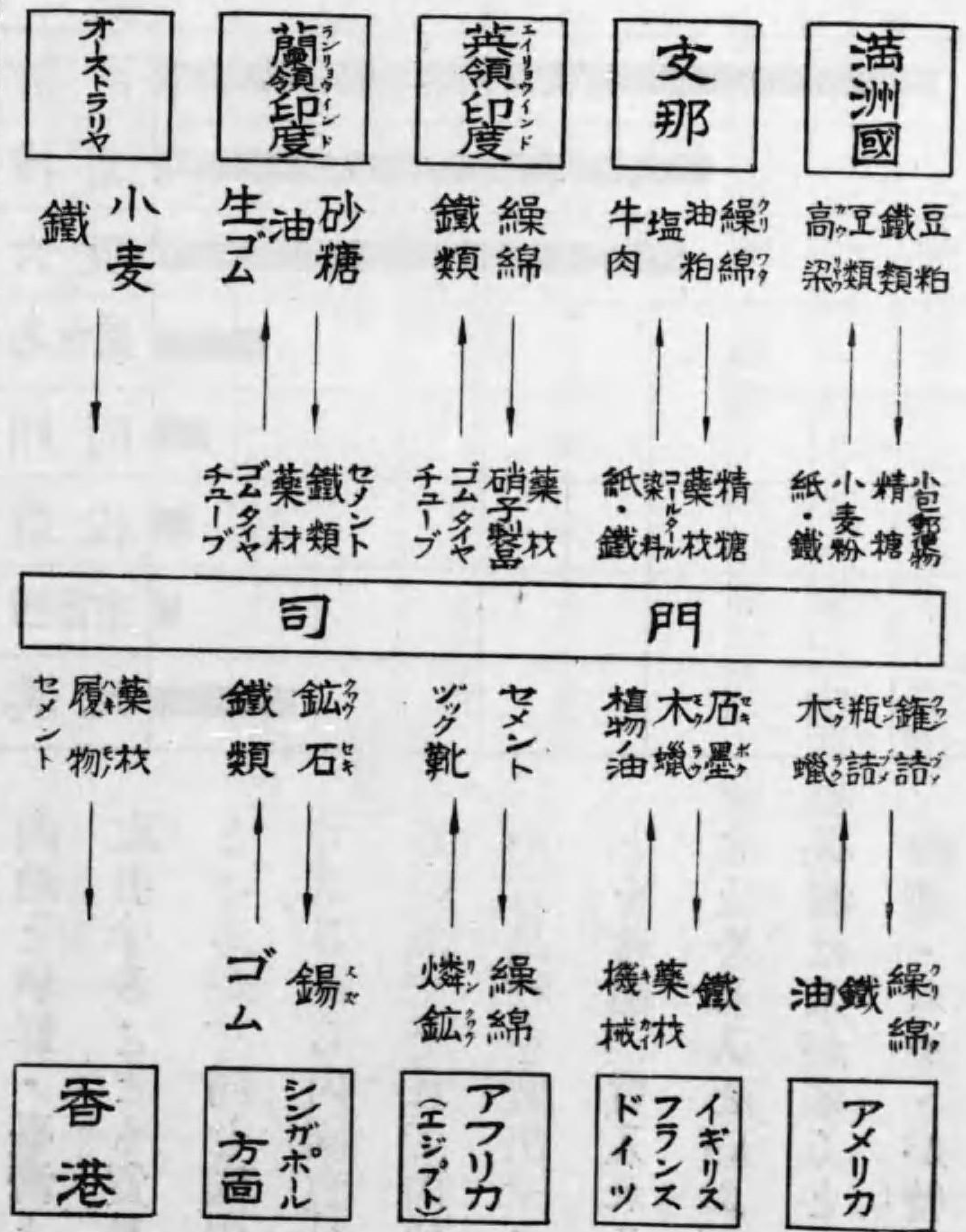
我が國の主な開港場の貿易額比較表（昭和十一年）



內地と朝鮮・臺灣と取引することも貿易といふが、同じ國內であるから內國貿易といふ。それで內地から品物を賣出すことを移出、買入れることを移入といふ。

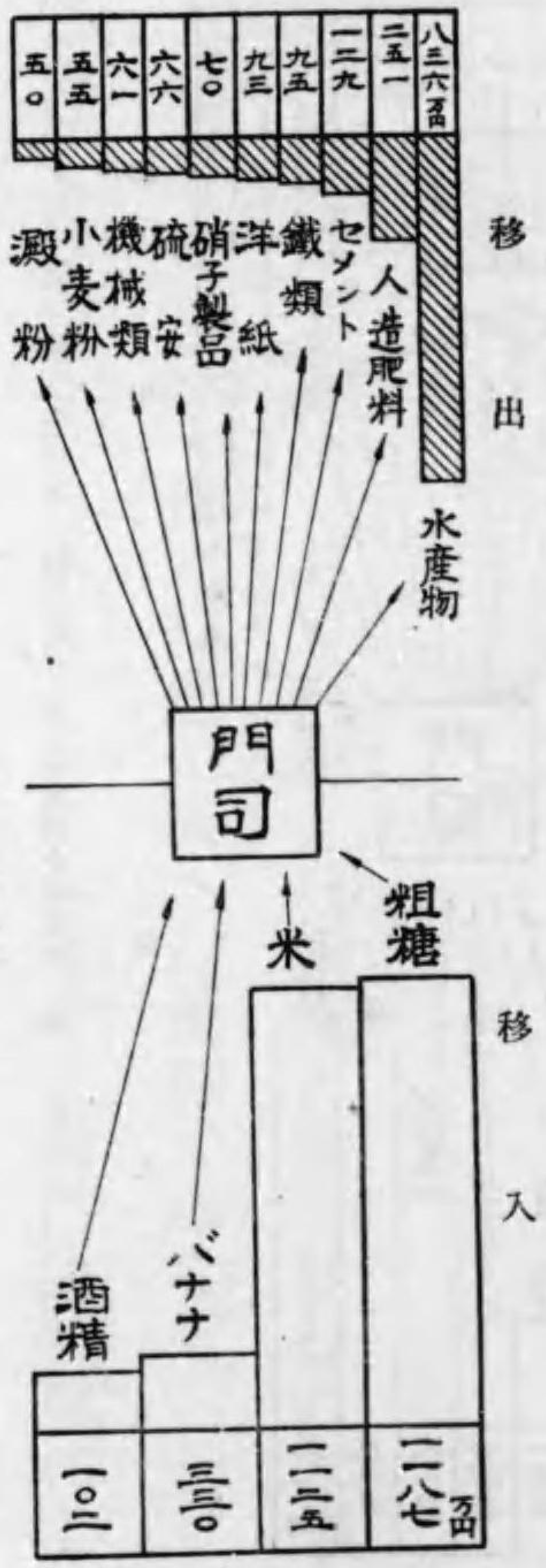
臺灣は米が多くとれ砂糖・バナナ、が特産

門司と各國との貿易（昭和十一年度）



物であるので、この三つが最もたくさん移入される。しかし砂糖は粗糖のまゝ移入し、多くは大里の製糖會社で精製され

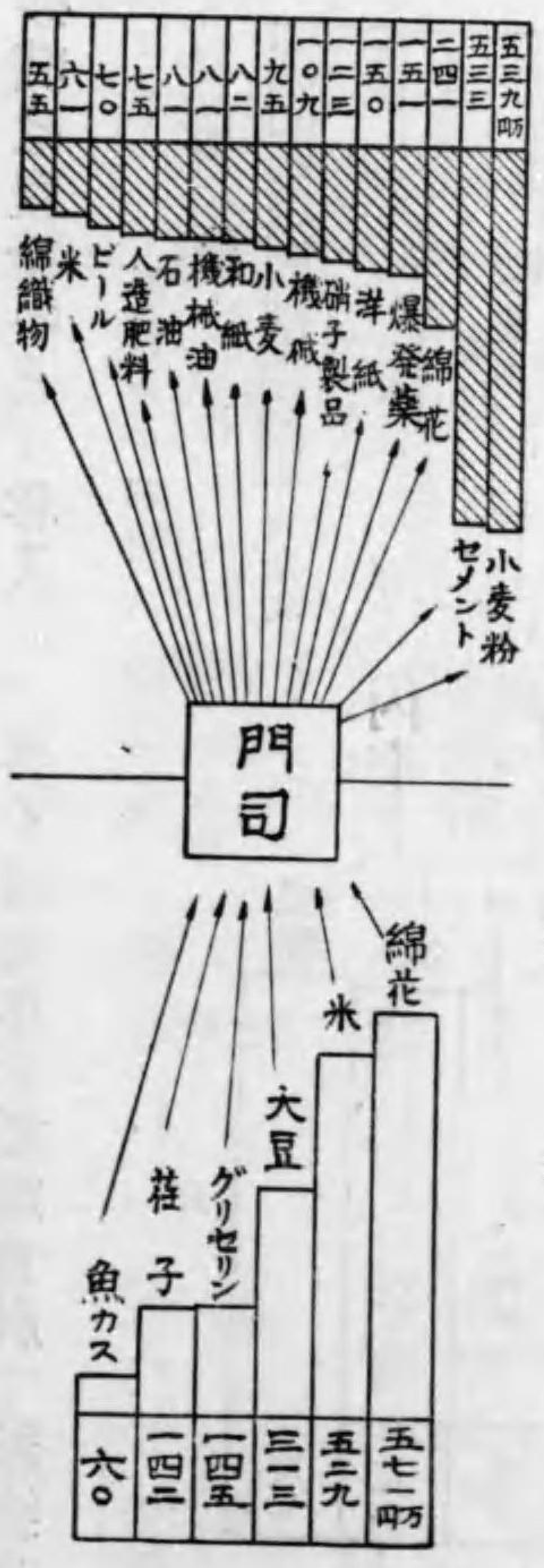
臺灣との移出入（昭和十一年）



て各地に賣り出される。その他罐詰・アルコール・木材・食鹽等も移入される。臺灣へは鹽乾魚・紙・小麥粉・セメント・織物・ビール等を移出する。

移出總額はおよそ二千百萬圓、移入總額は二千二百萬圓で移出と移入の額は大して差がない。

門司から朝鮮へは小麦粉・セメント・綿花・洋紙・ガラス製品・機械等を移出し、朝鮮からは綿花・米・大豆・グリセリ



朝鮮との移出入（昭和十一年）

ン・肥料等を移入する。移出總額は二千二百萬圓、移入總額は八百九十萬圓で移入の方が少ない。

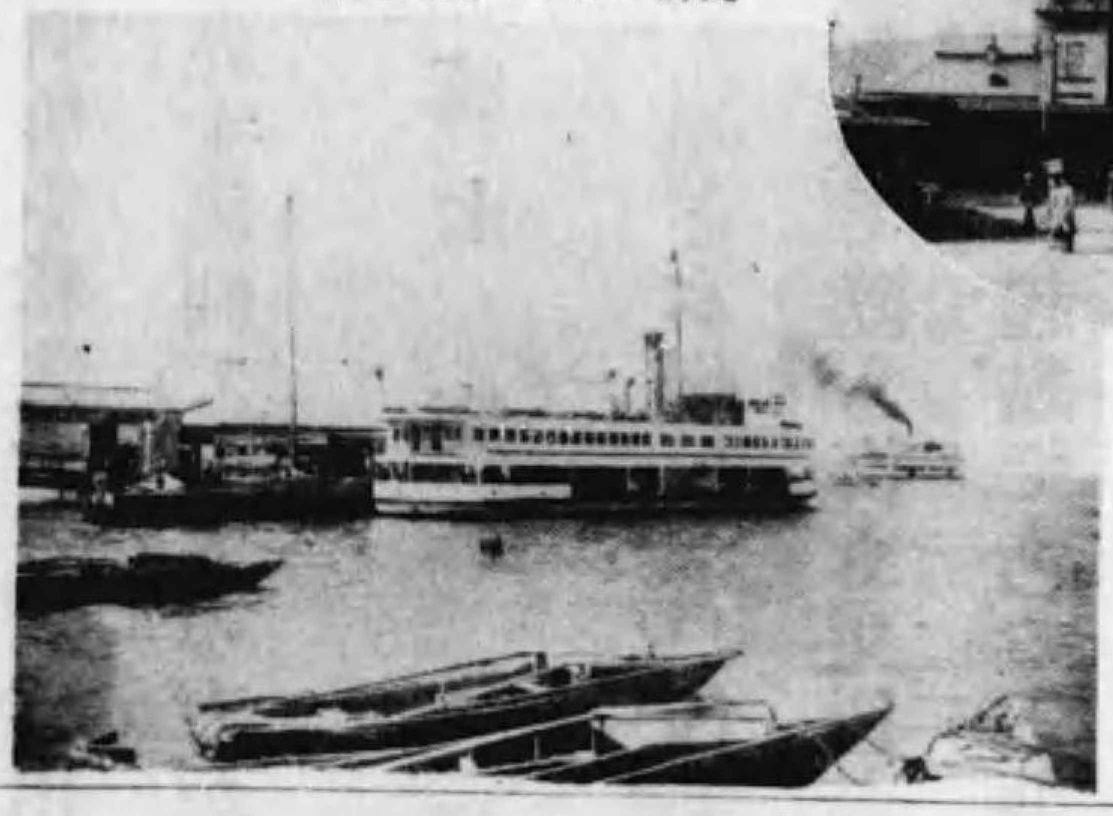
第七 交通

門司は九州と本州・瀬戸内海と日本海とをつらねる大切な位置にあるので陸も海も交通が大へん便利である。鹿児島本線の起點であると共に山陽線と關門連絡船によってつながるので九州から本州の各地へ行くにも、本州から九州に來るにも、臺灣・朝鮮・其の他諸外國と往來するのにも多くはこゝを通らねばならない。その爲に門司驛で乗り降りす

鐵道

門司停車場

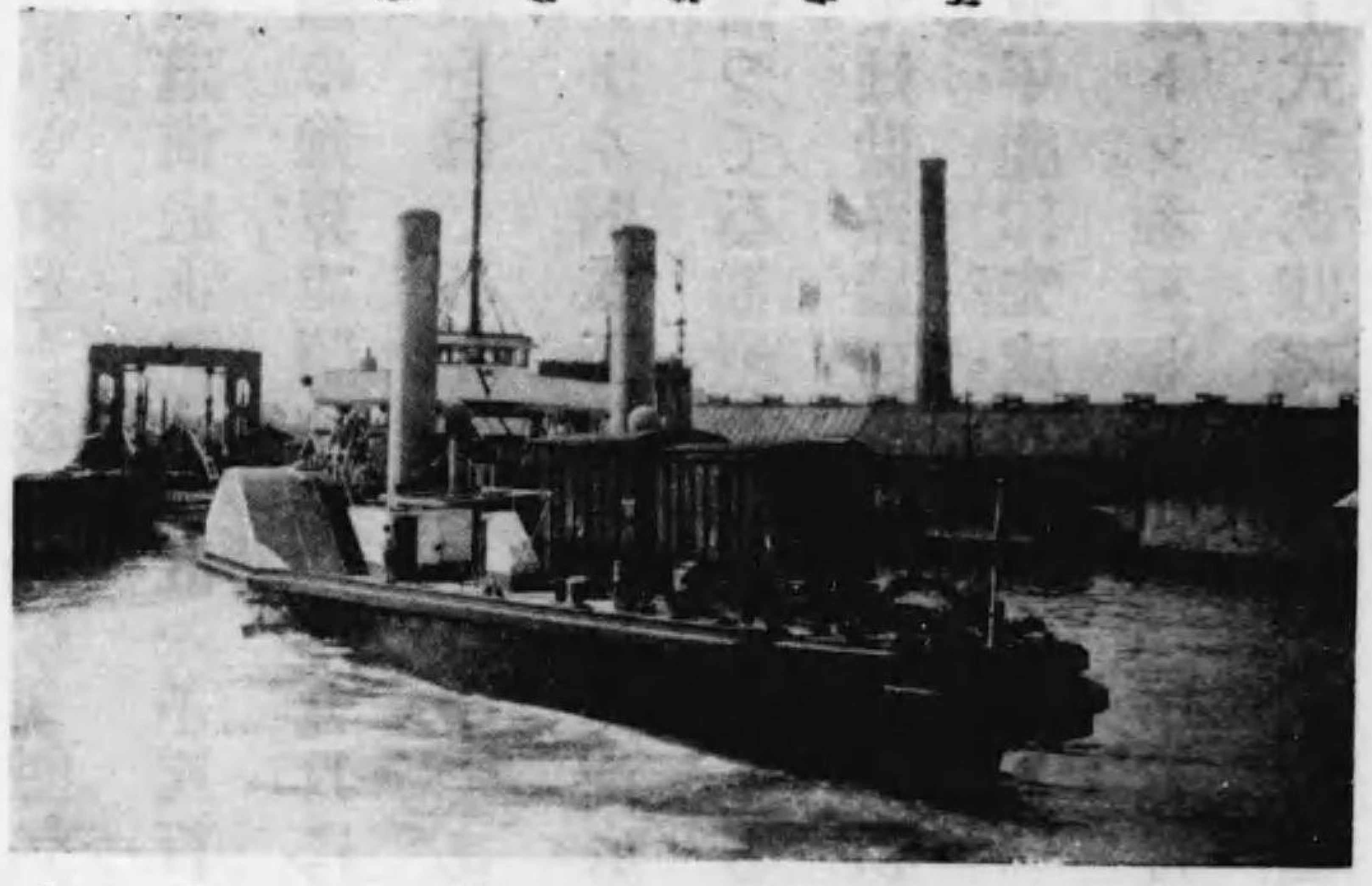
棧橋における關門連絡船



門司驛からの距離・時間・運賃しらべ（門司驛ヨリ）

	距離	所要時間	三等運賃	通行税
福岡	七九	約一時間半	一二四	二
熊本	一九九	〃四時間	二七一	一〇
長崎	二四一	〃五時間	三二六	一〇
鹿兒島	四〇〇	〃八時間	四五七	二〇
廣島	二〇三	〃四時間	二八六	一〇
神戸	五〇八	〃十時間	五七〇	三〇
大阪	五四一	〃十時間半	五九五	三〇
京都	五八四	〃十一時間	六二七	三〇
名古屋	七三二	〃十三時間半	七三二	三〇
東京	一〇九八	〃十九時間	九六七	四〇
京城	六九二	〃十五時間半	一〇九五	三〇
新京	一七七二	〃三十七時間	一七三八	四〇

貨車航送船



る人は一年間に各、百六十萬人位で、貨物の取扱ひ數は一年間およそ二百萬噸を越えてゐる。小森江海岸にある貨車航送所は、大里驛構内から引き入れた線路によつて貨車を航送船で下關に送つてゐるが、關門海底トンネルが出來たら一そうたやすく本州との連絡も出來ること〻なつて、門司市の發達も目ざま

しいものとなるであらう。

海底トンネル

鐵道海底トンネルは一千八百萬圓の豫算で昭和十一年九月に仕事をはじめ今盛に工事中である。シールド式工法を用ひて海底を掘つてゐるが海底トンネルとしては世界最初のもので、昭和十五年度に完成の豫定である。國道トンネルも昭和十二年五月起工式をあげやはり今工事中である。その計劃によると下關側は御裳裾川附近から海底に入りメカリ附近から古城山を通りぬけて甲宗八幡神社附近に出て來る豫定である。國道トンネルは直徑九米で、上段は自動車下段は人道・自轉車道の二段である。夢にも考へなかつた本州との直通連絡の出來るのもあまり遠くはない。

門司鐵道局

九州全體の鐵道に關する色々な仕事を取扱つてゐる門司鐵道局は驛の近くにある。

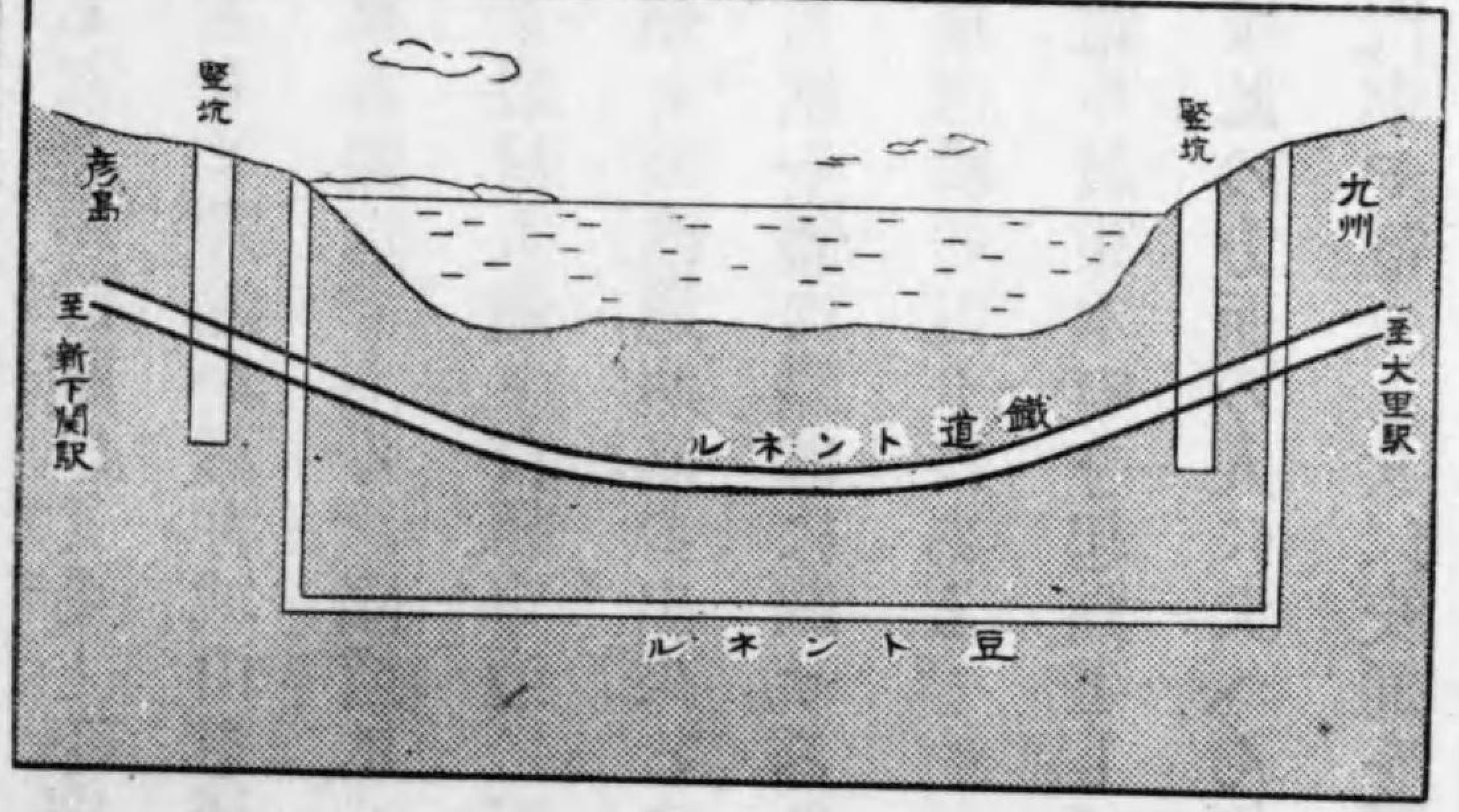
電車

電車は東本町を起點として小倉・戶畑・八幡方面に通じてゐて此の方面の人に大へん便利をあたへてゐる。

自動車

汽車や電車と共に交通を助けてゐるものに自動車がある。バ

道路

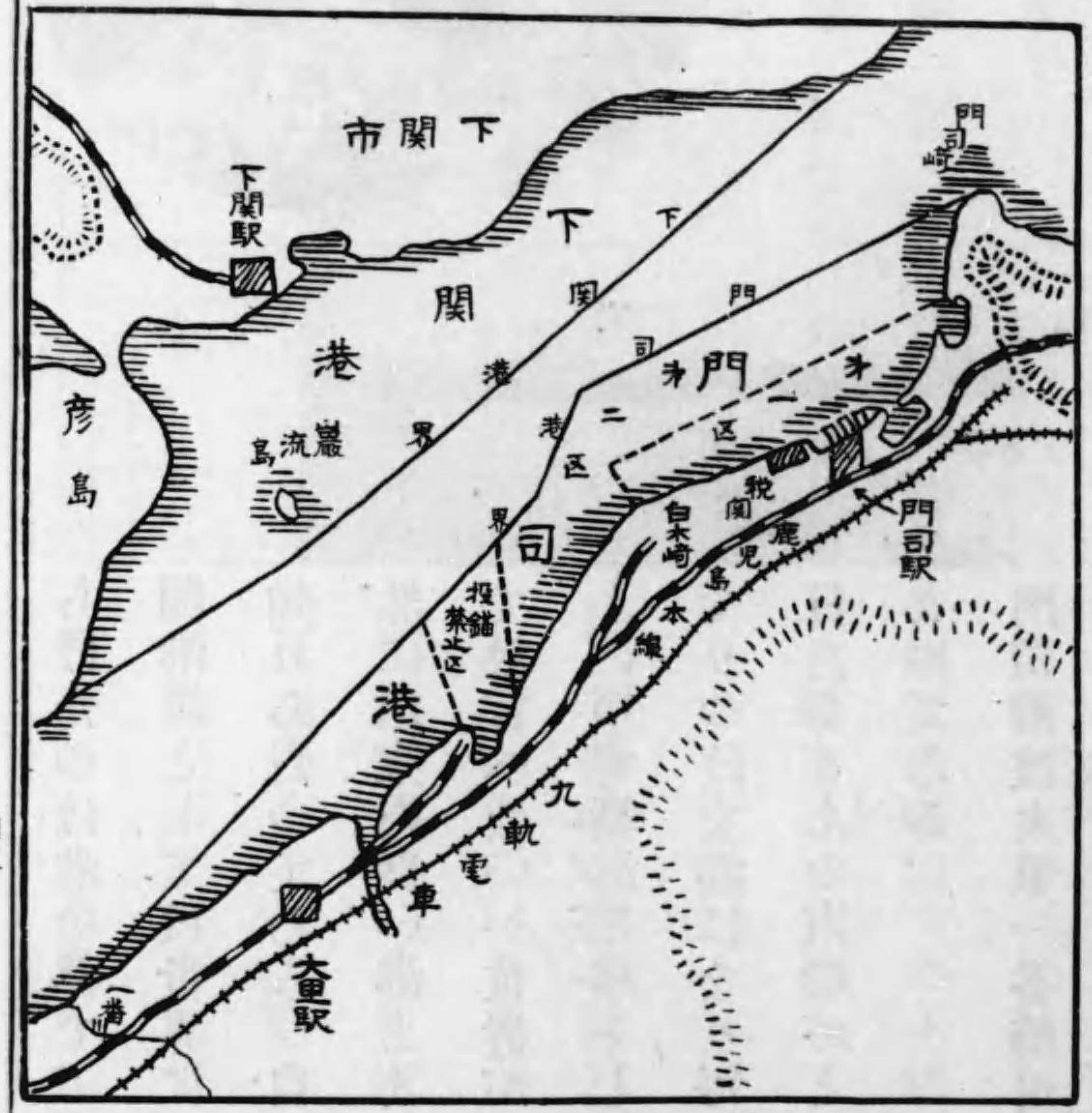


スは市內をめぐり、又大里から恒見、丸山から白野江、柄杓田、恒見に通ふものがあり、其の他多數の自動車が盛に市の內外を走つてゐる。

道路もだん／＼改良せられて、本市を東から西につらぬく國道・縣道を中心として發達し、表門司と裏門司とをつらねる道路も往來が盛である。五六十年前はさびしい

村であつた當時の交通の有樣とくらべてその發達の速いのには全く驚く外はない。門司がひ

門司港圖

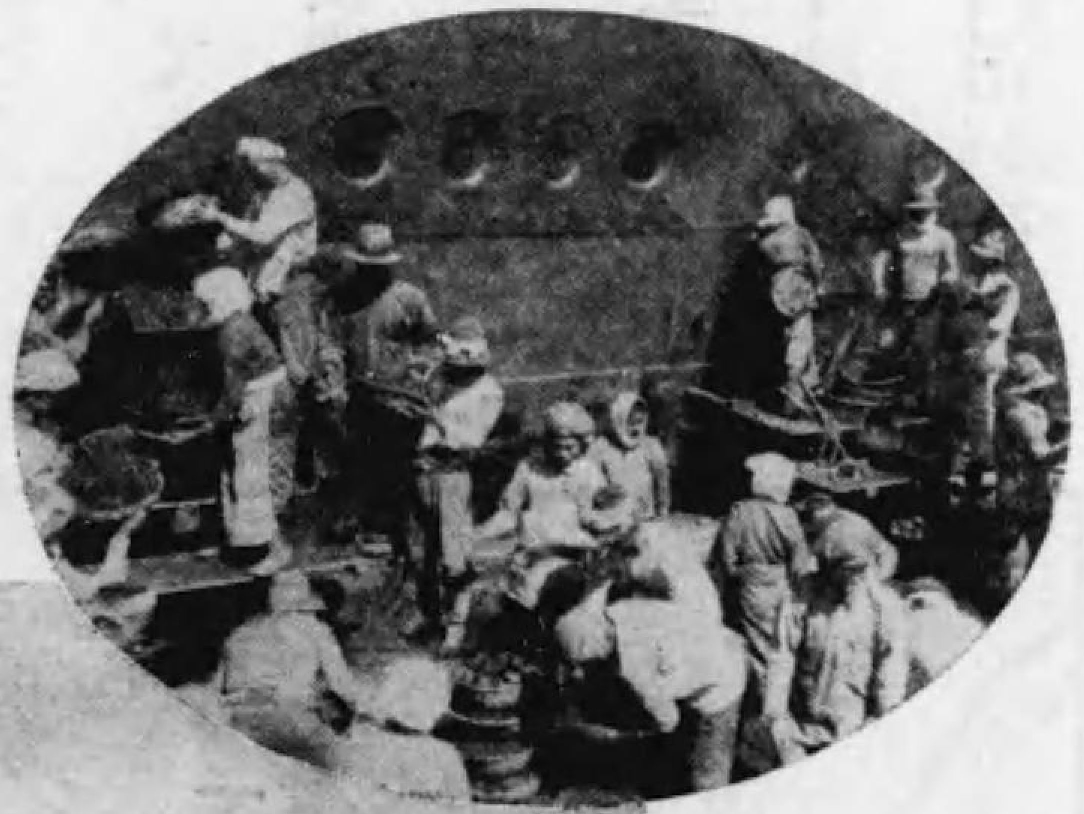


海上の交通

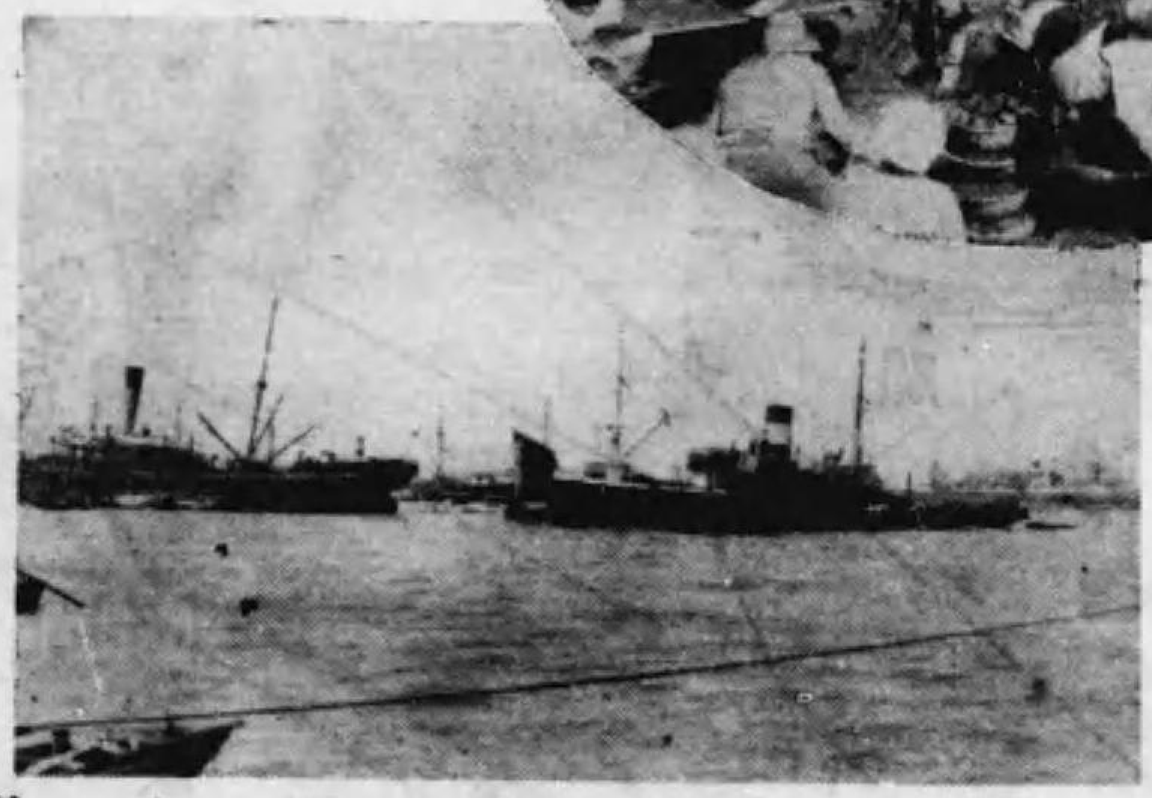
門司港區

らけたのは港の爲で、開港場としては世界に知れわたつてゐる。自然に出來た良い港とまでは言へないが位置がよいので築港工事をしてりつぱな港になり毎日たくさんの汽船がとまつてゐる。

石炭積込み



門司港

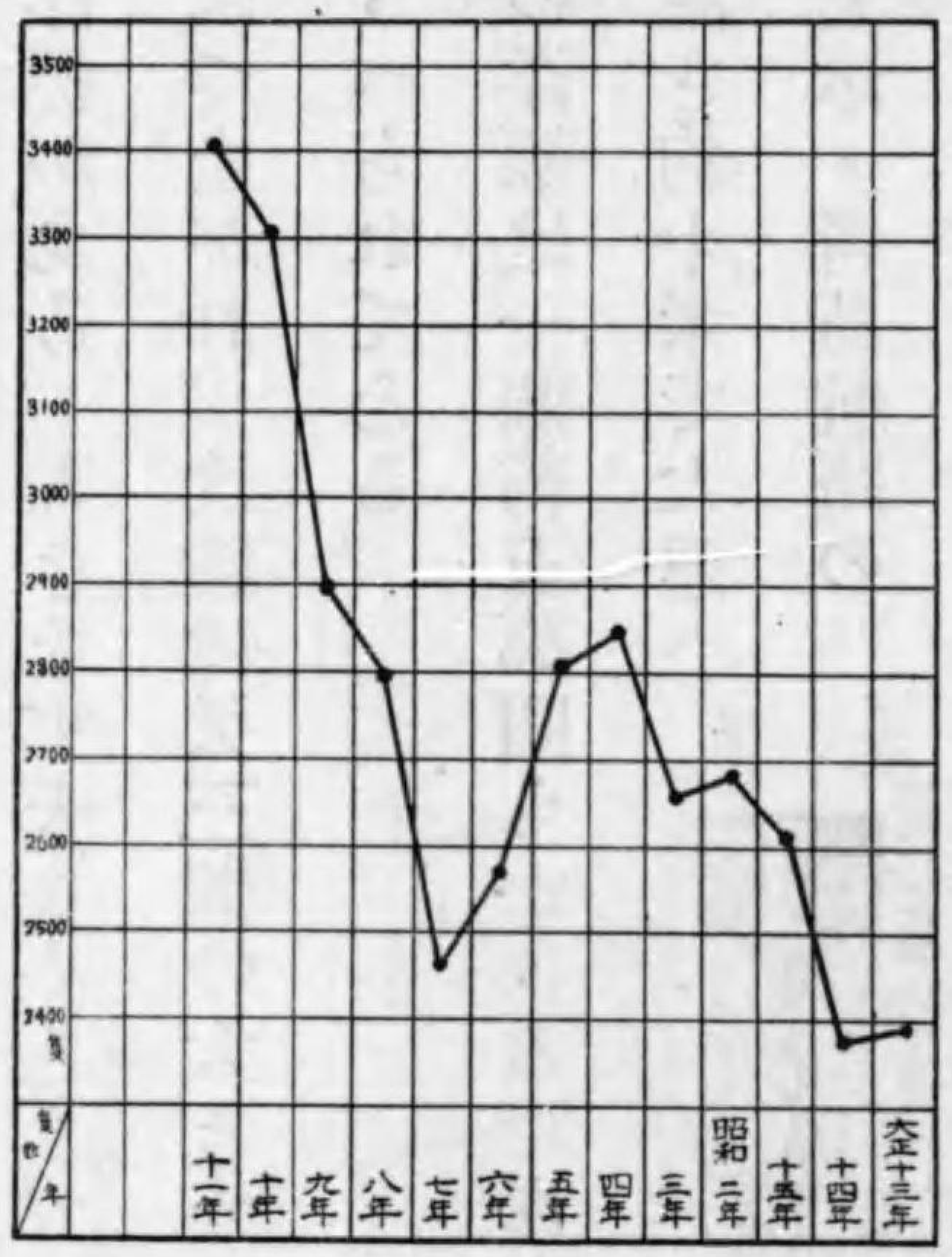


門司港は大里一番橋川

浮標

口から門司崎まで、其の面積は約四平方粁である。これを二區に分けて第一區は主に內地の取引の爲八百噸以下の小船をとまらせ、第二區は主に外國貿易の爲大船をとまらせることになつてゐる。

外國貿易船入港隻數



門司港内は潮の流れが速いので、とまつてゐる船は一晝夜に二回廻るといふ珍しい港である。それで汽船をつなぐ爲十二

築港

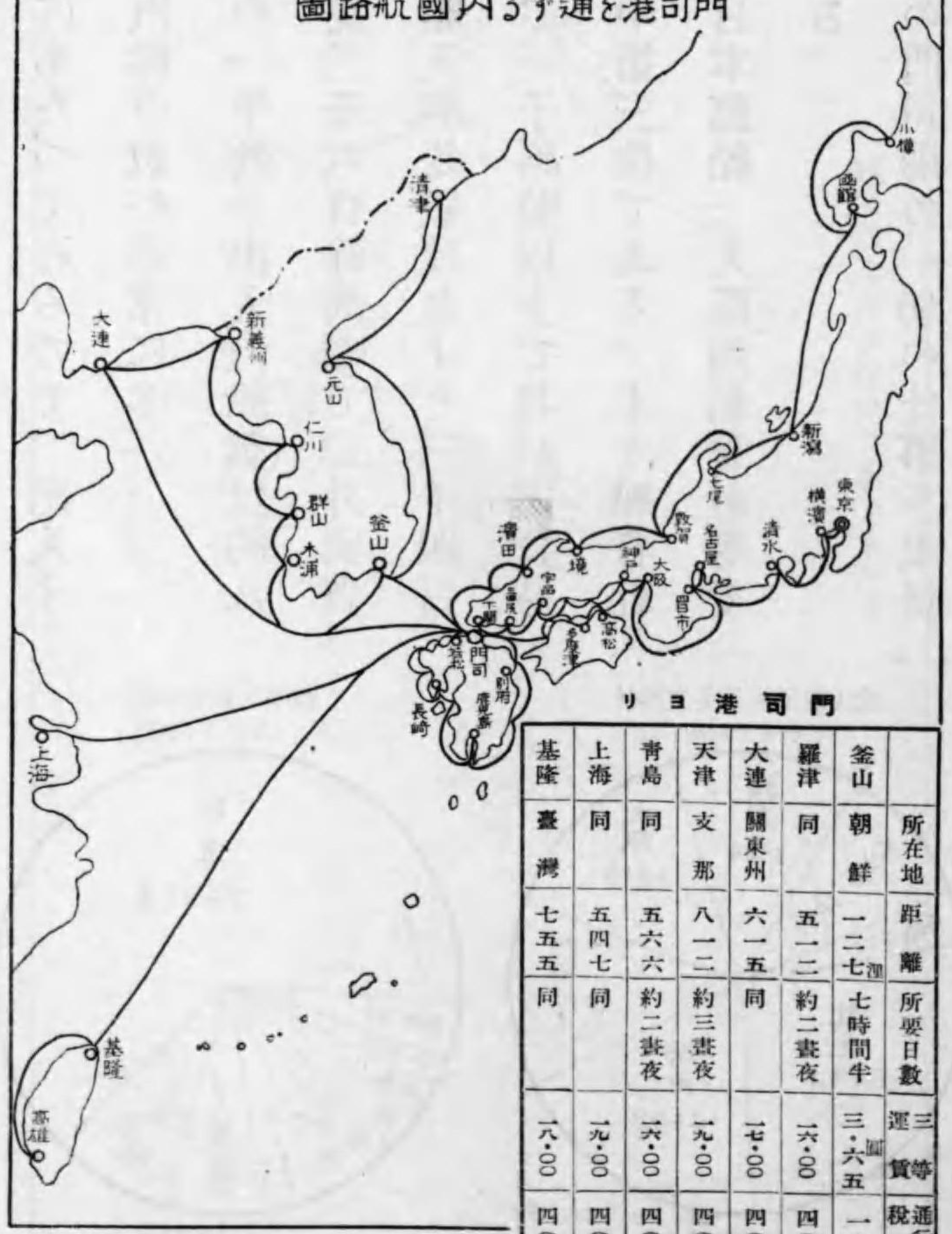
の浮標がある。大きな丈夫なくさりで海底の沈鐘につながれ、沈鐘は又三個の大きないかりでさゝへられてゐる。

この浮標は一個約五萬圓もかゝる。岸壁の附近は深さ約十米で大連・天津・青島航路の汽船が横づけされるから乗客は大へん便利である。この岸壁には一時に一萬噸位の大船を七八隻も横づけにすることが出來る。

航路

門司港は内地の港や外國の港に通ずる大事な航

門司港を通ずる内國航路圖



門司港ヨリ

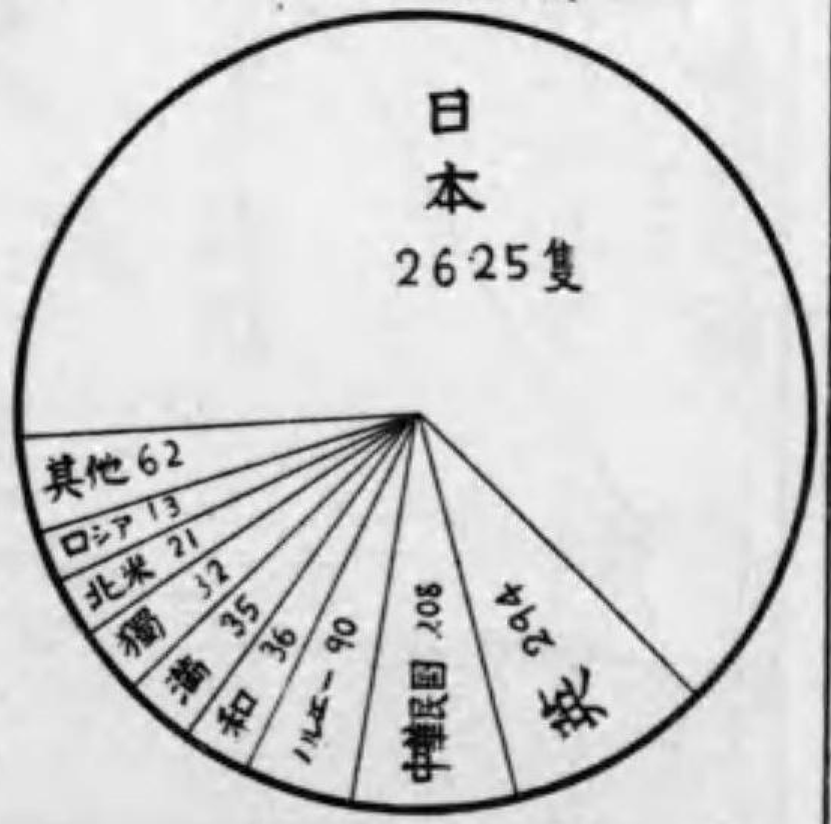
	所在地	距離	所要日數	三等運賃	通行税
釜山	朝鮮	一二七浬	七時間半	三・六五圓	一〇
羅津	同	五一二	約二晝夜	一六・〇〇	四〇
大連	關東州	六一五	同	一七・〇〇	四〇
天津	支那	八一二	約三晝夜	一九・〇〇	四〇
青島	同	五六六	約二晝夜	一六・〇〇	四〇
上海	同	五四七	同	一九・〇〇	四〇
基隆	臺灣	七五五	同	一六・〇〇	四〇

路にあたつてゐるので、出入する汽船の數が非常に多い。

其の一年間の出入汽船數は約八千隻二千六百餘萬噸で、外國貿易船入港隻數はおよそ三千四百隻、一千萬噸以上で我が國貿易港中第三位である。主な船會社は日本郵船・大阪商船會社等である。

此の門司港の一切の仕事を取扱

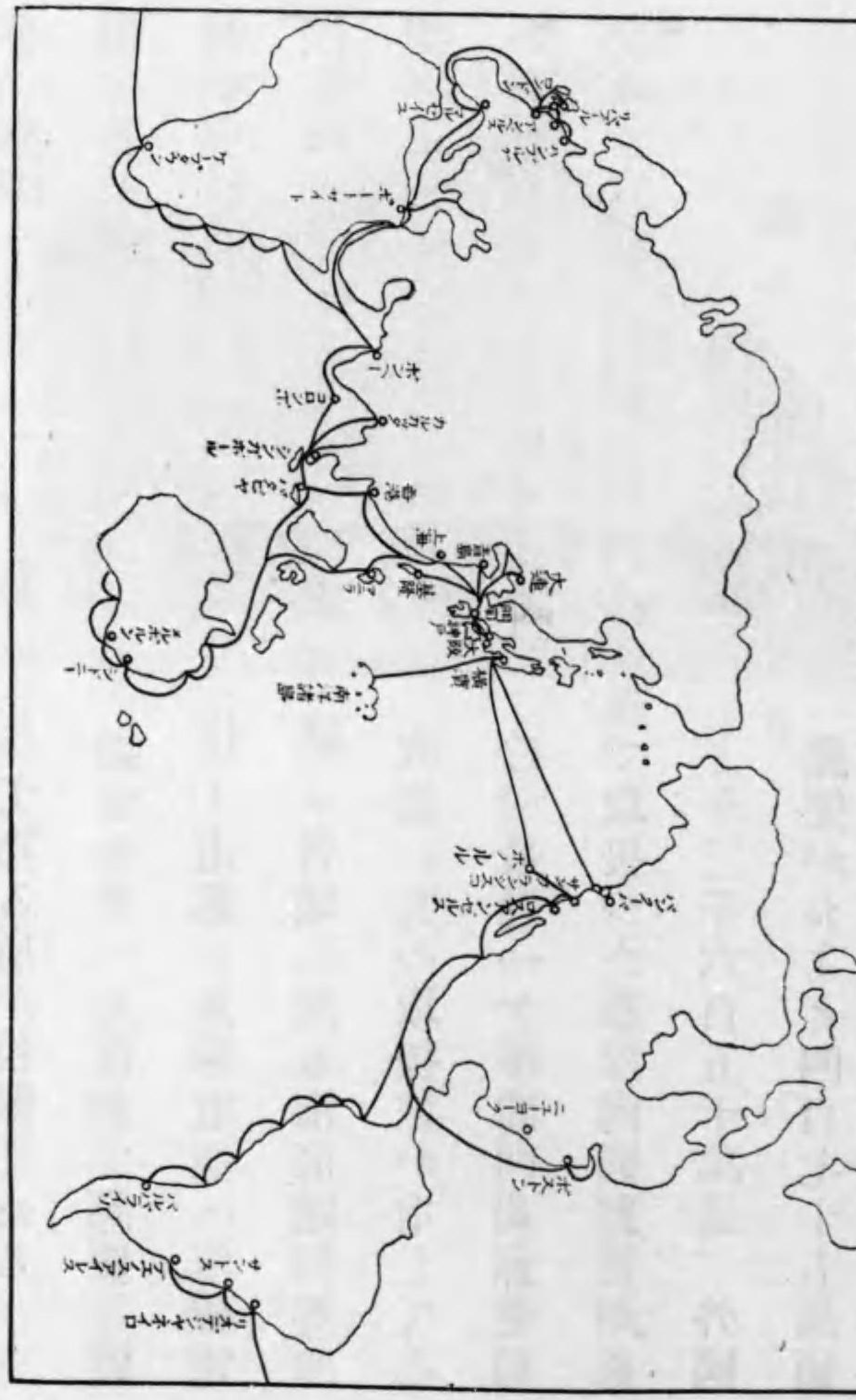
外國貿易船入港數
（昭和十一年）



總隻數 3416 隻

外國貿易船入港數比較
（昭和十一年）

全國總數 23031 隻



門司港を通ずる世界主要航路圖

通信

門司稅關

つてゐる所が稅關である。

通信も大へん便利で郵便・電信・電話・無線電信・無線電話・各地に至る海底電信等も次第に其の取扱數が增してゐる。最近一ヶ年間門司郵便局で取扱つた數は內國郵便がおよそ二千六百五十萬通、外國郵便がおよそ四百七十五萬通、內國電報が九十七萬通、外國

門司驛附近

電報が二萬四千通に上つてゐる。

第八　市內めぐり

汽車や汽船で門司に來た人の第一に目につく建物は、五階建の稅關廳舍と、年中たえまなく白煙をはいてゐるセメント工場であらう。

門司驛は鹿兒島本線の起點で、上り下りの列車や、關門連絡船の發着するたびに乘り降りする人の數は大へん多い。停車場の前には三井物產・郵船・商船會社や、其の他大きな旅館等の建物が立並んでゐて門司市の玄關としてははづかしくな

榮町通り

い。驛前の廣場に出て目につくのはバナヽや其の他の果物を賣つてゐる店である。こヽから下關に渡るのに關門汽船會社の船もある。

驛前にはたくさんの自動車やバスが並んでゐる。市內バスはメカリ行き・東本町田野浦行き・本川町田野浦行き・錦町田野浦行き・宗利町行き等がある。

電車通りを横ぎつて左に行くと榮町に出る。この榮町と內本町は市內きつての目貫の通りで、吳服屋や雜貨店・市場等の大きな商店が軒を並べてゐて常に人通りが多くにぎやかである。

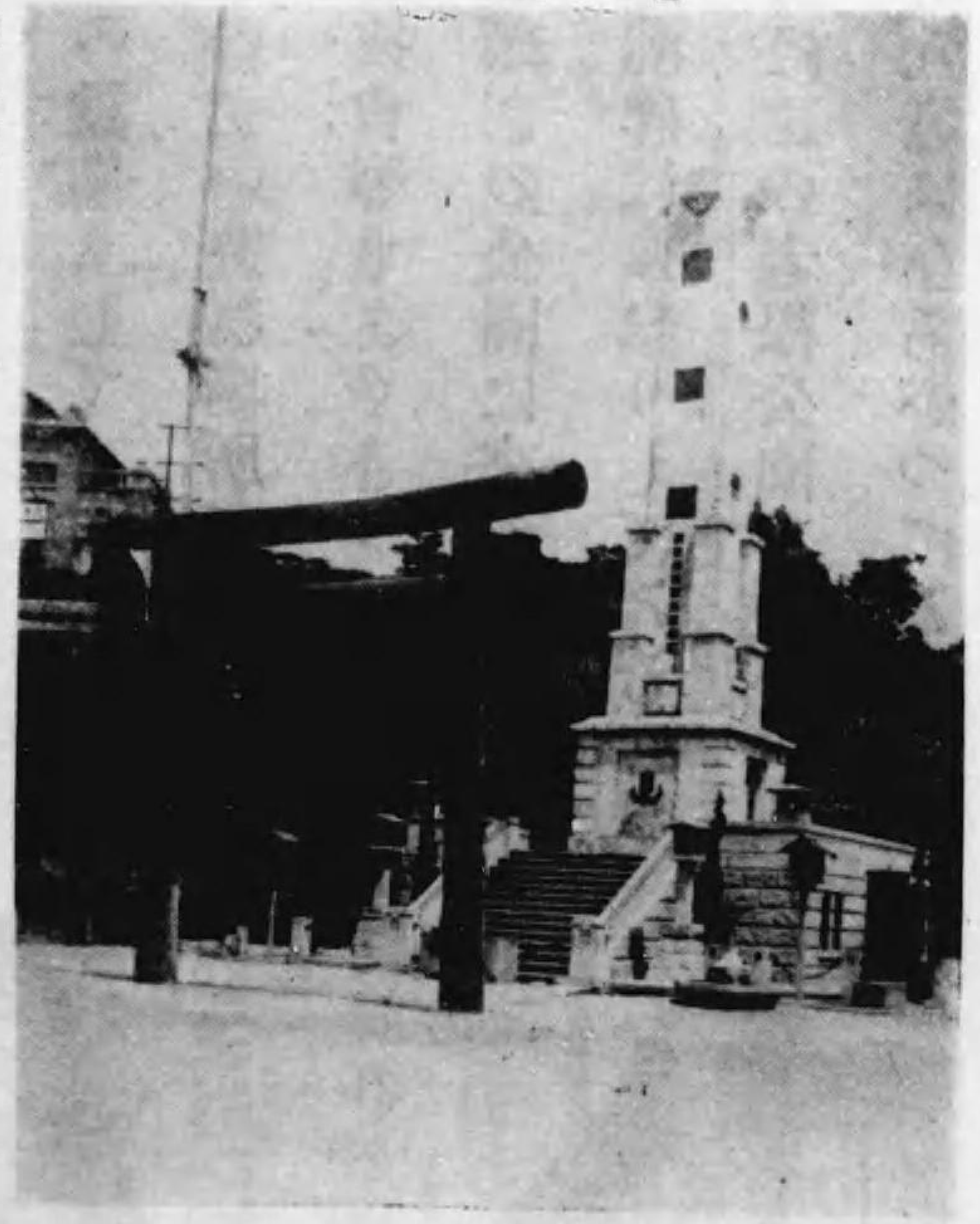
老松公園

鎭西橋から堀川通りを行くと、老松公園に出る。公園には忠魂碑を中心に、ラヂオ塔や色々の設備もしてある。我々市民のよい遊び場所で運動會や競技會等もよくこヽで行はれる。この公園に來る人は必ず忠魂碑にお參りしてゐる。

町はこの老松公園を中心に四方八方にひろがつてゐて、海

內本町通り

甲宗八幡神社

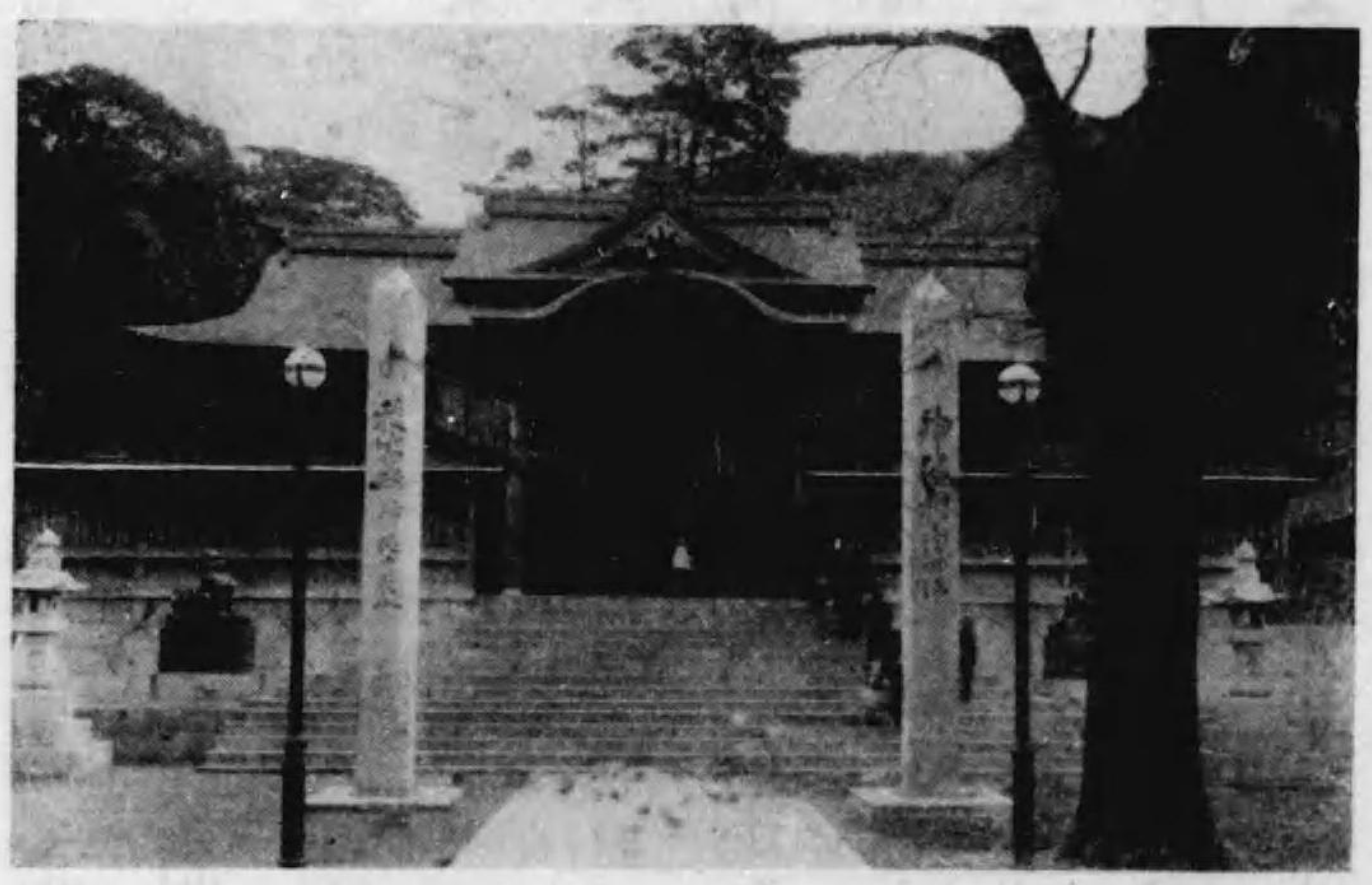


忠魂碑

岸の方はにぎやかで商店や倉庫が多く、山手の方は静かで住宅が立並んでゐる。

内本町を出ると間もなく縣社甲宗八幡神社がある。我々市民の氏神様で大祭は毎年十月の中頃に行はれるが、日頃もお參りする人が多い。

この神社は今から一千年も前にまつられたもので神功皇后が



甲宗八幡神社

熊襲や三韓征伐の時に召された御甲が御神體となつてゐるとのことである。

神殿をはじめ拜殿・樓門・神惠閣等りつぱなもので、樓門のかたはらには銀杏の老木がすつくと大空に枝をひろげて、一千年の昔を物語つてゐる。

境内の裏の櫻公園を過ぎると名高い筆立山に出る。あまり

和布刈神社

高くはないが山の頂に登つて眺めるとすぐ足もとの門司の町や、大小の船の浮かんでゐる關門海峽・向かふの下關の町・彦島・六連島・かすかに八幡方面までも一目に見ることが出來る。

八幡樣から海岸傳ひに一キロメートルあまり北に行くと關門海峽はいよ〳〵せまく、向かひの壇の浦との間はわづかで、潮が渦を巻いて矢のやうに流れてゐる。

こゝに縣社和布刈神社がある。まことに景色のよい所で、境内の岩の上に立つて眺めると、遠くヨーロッパ・アメリカ・支那・臺灣・大連等に往き來する汽船がすぐ目の前を通つて

和布刈神社

行く。向かひは國史に名高い壇の浦で、美しい海岸を長府通ひの電車や自動車が勢よく往來してゐる。その上にぬつとそびえてゐる火の山や、小舟が海上でつりをしてゐる樣はいつまでも見あかぬ眺めである。お宮はずゐぶん由緒の深いもので、五月中頃のお祭には玉替の神事が行はれる。

古城山

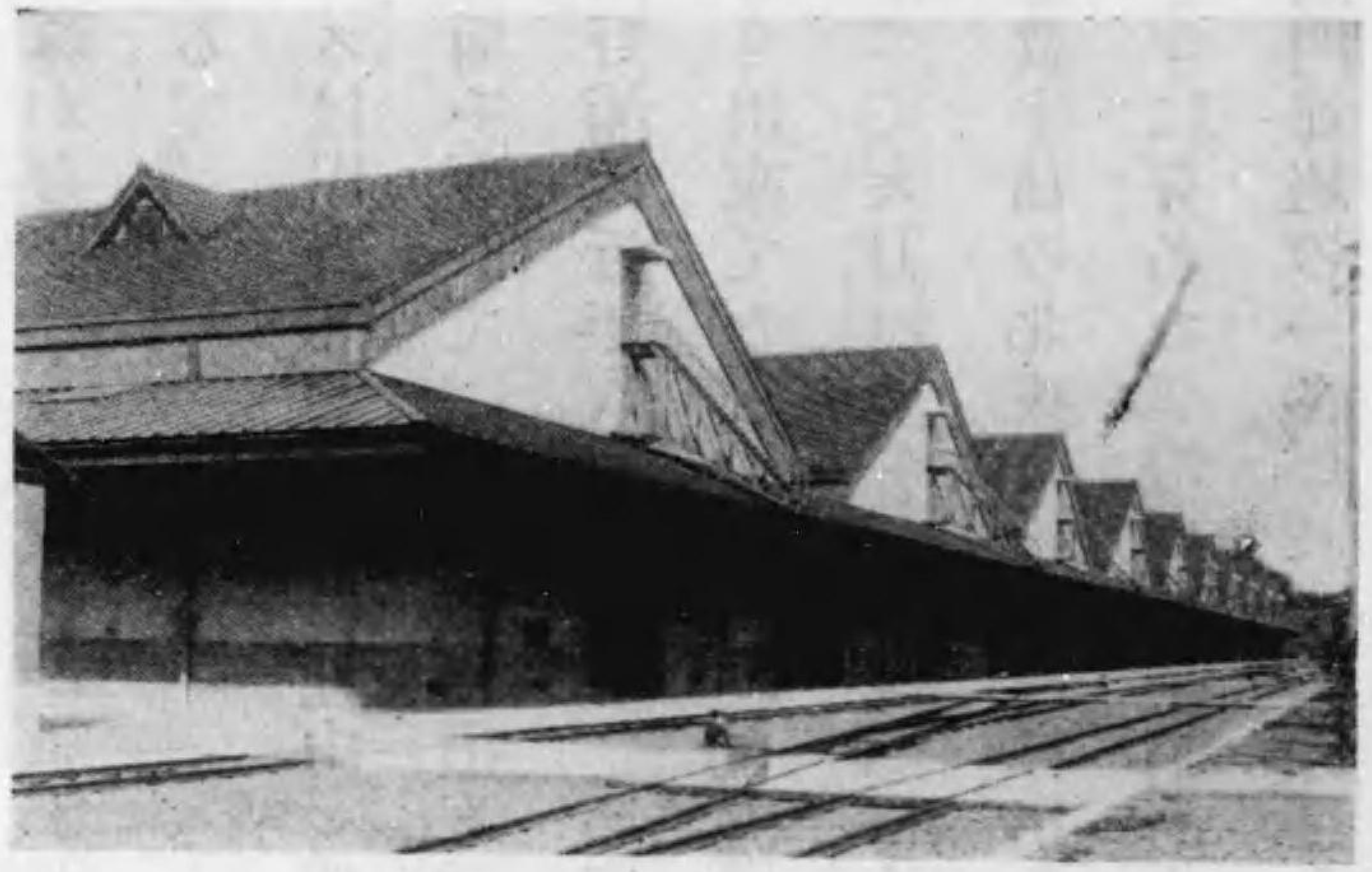
和布刈神事

なほ舊暦の十二月晦日の夜中に行はれる和布刈の神事は有名である。

和布刈神社の裏山は古城山といつて昔城のあつた所であるが、今はふもとの一部は和布刈公園で市民のよい遊び場所になつてゐる。附近は要塞地帯で『許可ナクシテ入ルベカラズ　陸軍省』と書いた立札が立つてゐる。門司市は國防上大切な要塞地帯になつてゐるので、市民とし

國立倉庫

國立倉庫



てこんなおきてには必ずしたがはねばならない。

門司驛から東本町田野浦行きのバスに乗ると大久保に出る。こゝに國立倉庫がある。赤い屋根に白い壁の大きな建物が十棟も並んで、二萬キロリットルの米を入れることが出來る。

米の出し入れをする爲に、門

司驛からこゝまで鐵道が敷かれてゐる。

バスは田野浦から更に丸山・錦町方面を廻つて、門司驛に出る。

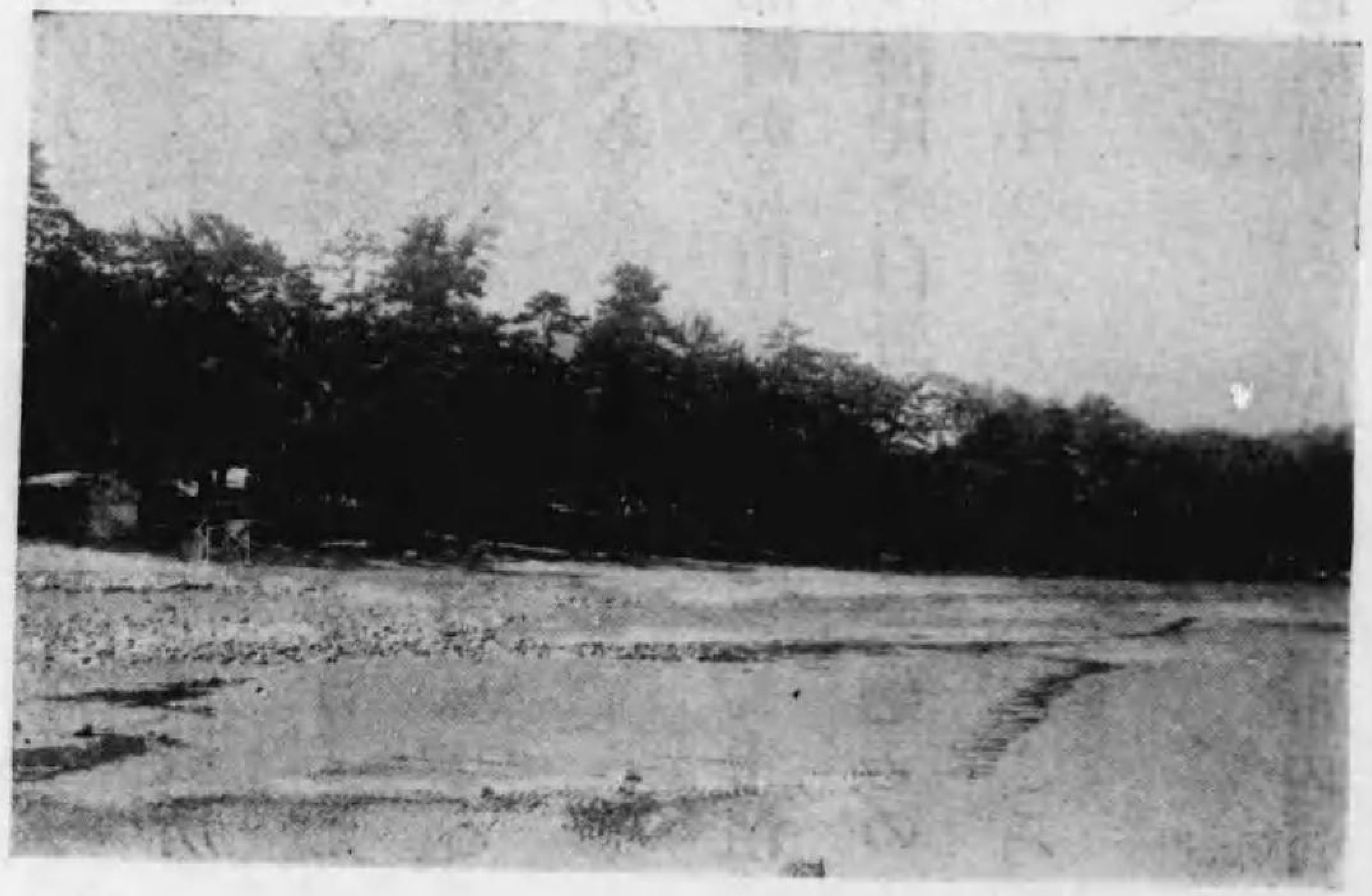
田野浦は近年人家が立ちこめ工場等も出來てゐる。こゝから海岸を傳つて大刀の浦を通り東へ行くと、企救半島の北東端の部崎に出る。こゝに有名な部崎の燈臺がある。

部崎燈臺

關門海峽の一番東にあたつてゐる

部崎燈臺

白野江海岸



ので、海峽を通る船にとつては大切な目じるしである。

燈臺は高さ六メートルの白い圓形の石造で、きりたつた岩の上の木の間にくつきりとそびえて美しい眺めである。

これは明治五年に出來たもので十五秒毎に一回キラリと白い光を發する閃光燈臺で、遠く三十キロメートルの所から

青濱白野江海岸

其の光を見ることが出來る。燈臺のすぐそばに潮流信號所がある。こゝは往き來する船に潮の流れの模樣を知らせる所である。

部崎から山や峠を越えて青濱の海岸や白野江の方に廻るのも一日の遊びにはよいところである。

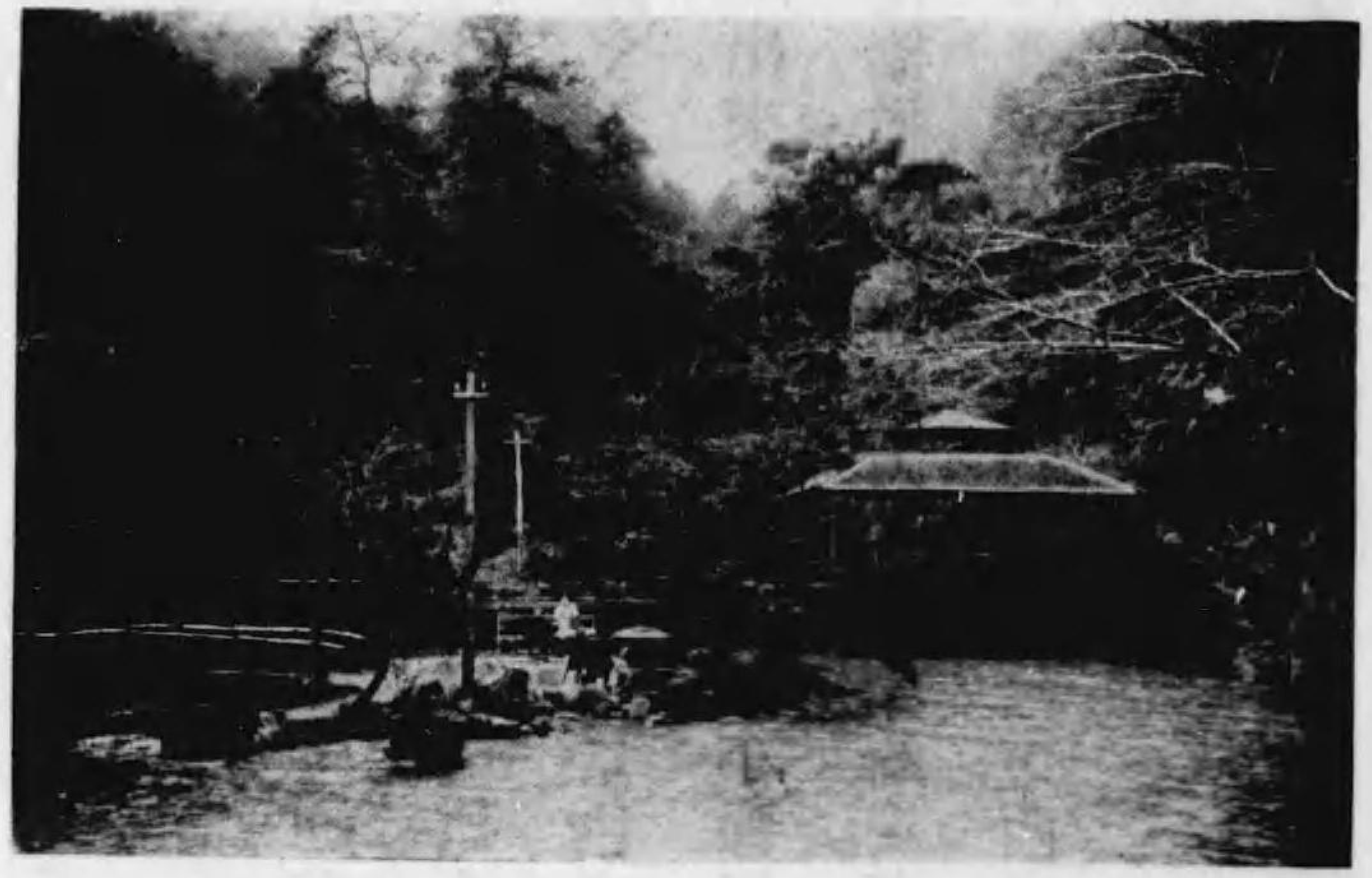
本町通り

電車通りの本町筋も又市内目

本町通り

清瀧公園

清瀧公園



ぬきの通りで、銀行・會社・新聞社・警察署・郵便局・鐵道局・市役所などの大きな建物が立並んでゐる。この通りは海岸通りと共に洋風の建物が多い。

市役所の附近は清瀧町で・ずつと前から村のあつた所で、何となしに落着いた靜かな所である。こゝに清瀧公園があ

る。池をめぐらして青々とした木がこんもりと茂つてゐて、非常に氣持がよい。

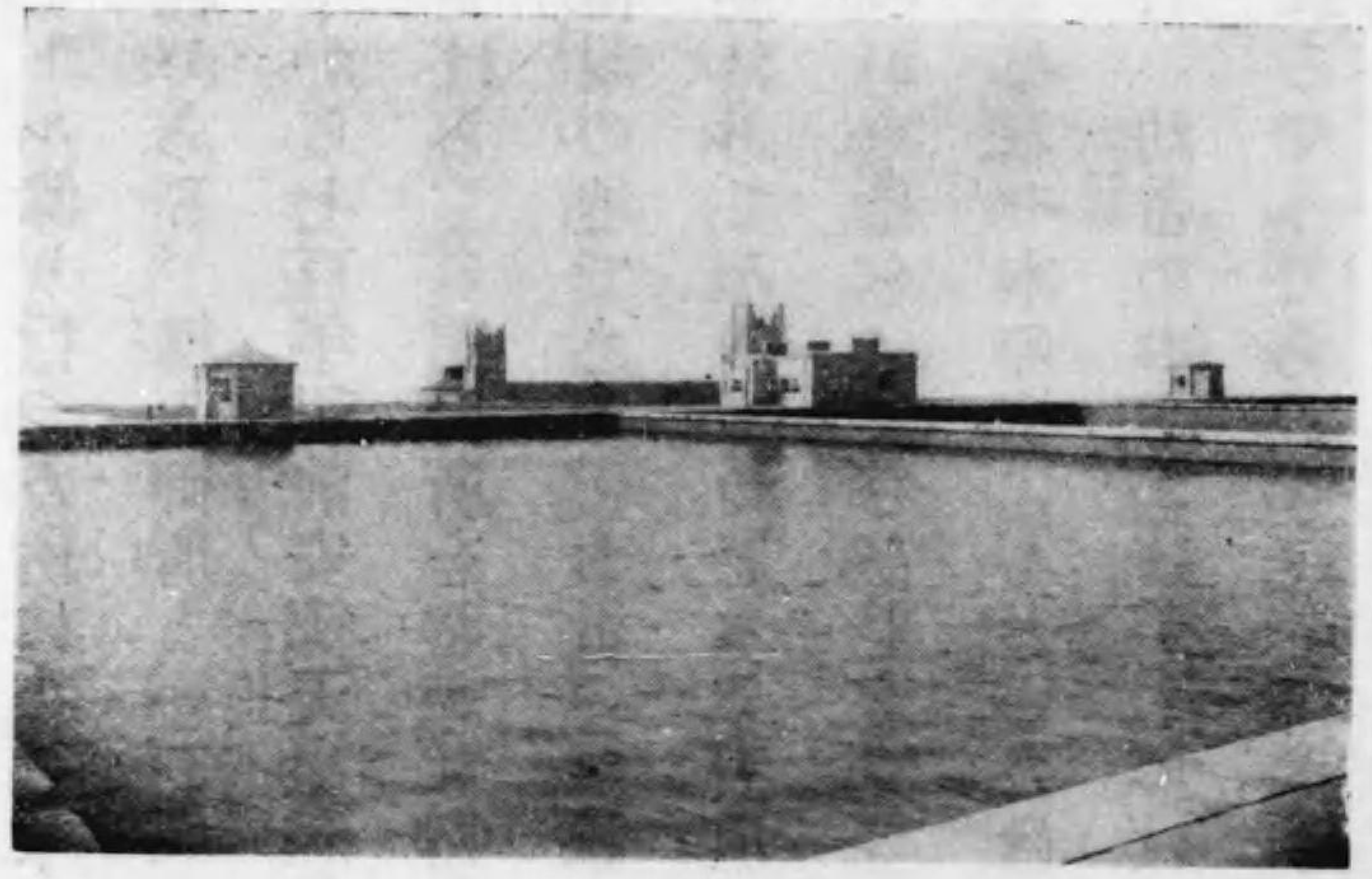
風師山

公園から風師山の頂まで自動車が通る登山道路がある。この山の上の岩に腰をかけて、遠くはてしもなく續いてゐる玄海灘や、關門若倉の美しい景色に一日を心ゆくまで樂しむことが出來る。尙葛葉からも小森江からも登ることが出來る。棧橋通りから廣石・白木崎・葛葉・小森江・大里へと電車に乘つて行くと、門司は東西に細長い町であることがわかる。

淨水池

小森江に水道の淨水池がある。門司市民の飲み水は市の南西

小森江淨水池

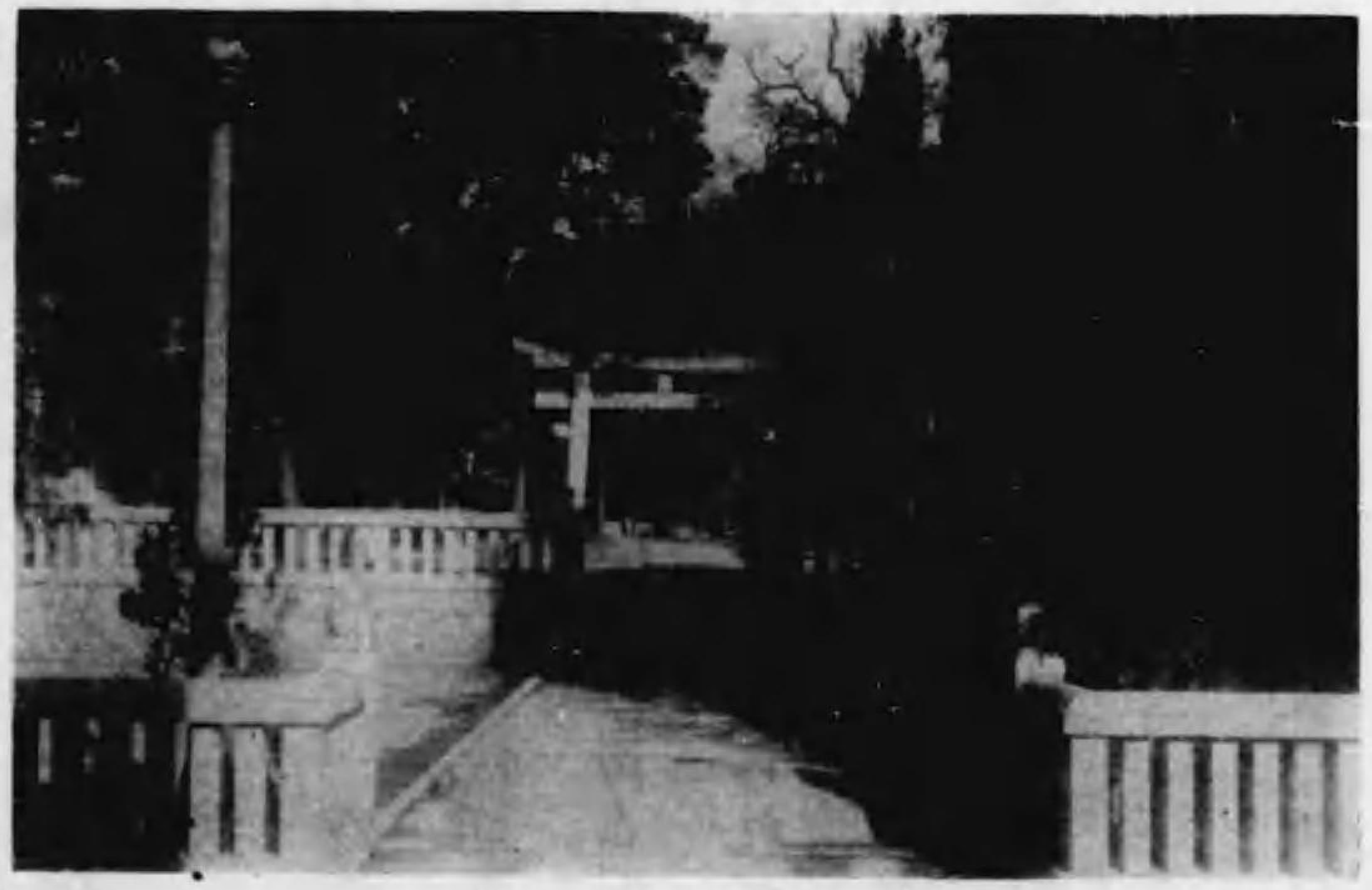


約三十キロメートルもある企救郡中谷村の水源池から送られて、こゝの淨水池で一たん清められる。きれいに仕切られた四角な池の中には青々とした水が一ぱいたゝへられてゐる。堤には櫻の木が植ゑられてゐるので春の花盛りには大へん美しい。

柳の御所

大里停車場から山手に三百メ

ートル餘り行つた所に小さな社がある。柳の御所といつて今から七百年程前安德天皇がしばらくの間御所をおかれた傳說の地である。お社の屋根をおふてゐる椎の老木や石垣のかたはらに、さびしく立つてゐる一本の柳にもおいたはしい幼帝のおもかげがしのばれるやうである。



柳の御所

戸上神社

都なる九重の内こひしくば
柳の御所をたちよりてみよ
薩摩守忠度

柳の御所から眞直ぐ山手に通じてゐる戸上通りを上ると縣社戸上神社がある。その本社は戸上山の頂の晝なほ暗い杉の木立の中におまつりしてある。今でも十月のお祭には、けはしい山の頂までお參りする人でにぎはふ。戸上神社の前から大きな道路が戸上山のふもとをうねりうねつて東に通じてゐる。この道を過ぎると企救郡松ケ江村に出る。この附近の景色が非常によいので、休日には此の附近に遊びに來る者が多い。

柄杓田

大里東口から東に向つて矢筈の南のふもとを廻ると柄杓田に出る。柄杓田からは廣い自動車道が黑川から丸山に通じてゐて、毎朝柄杓田の生魚が町に運ばれてゐる。

大里の國道

大里の海岸には昔の國道があつて九州の諸大名が江戸への往き來には、此の國道を行列してゐたのである。その當時大里は小倉と共に下關に渡る大事な港であつたのである。

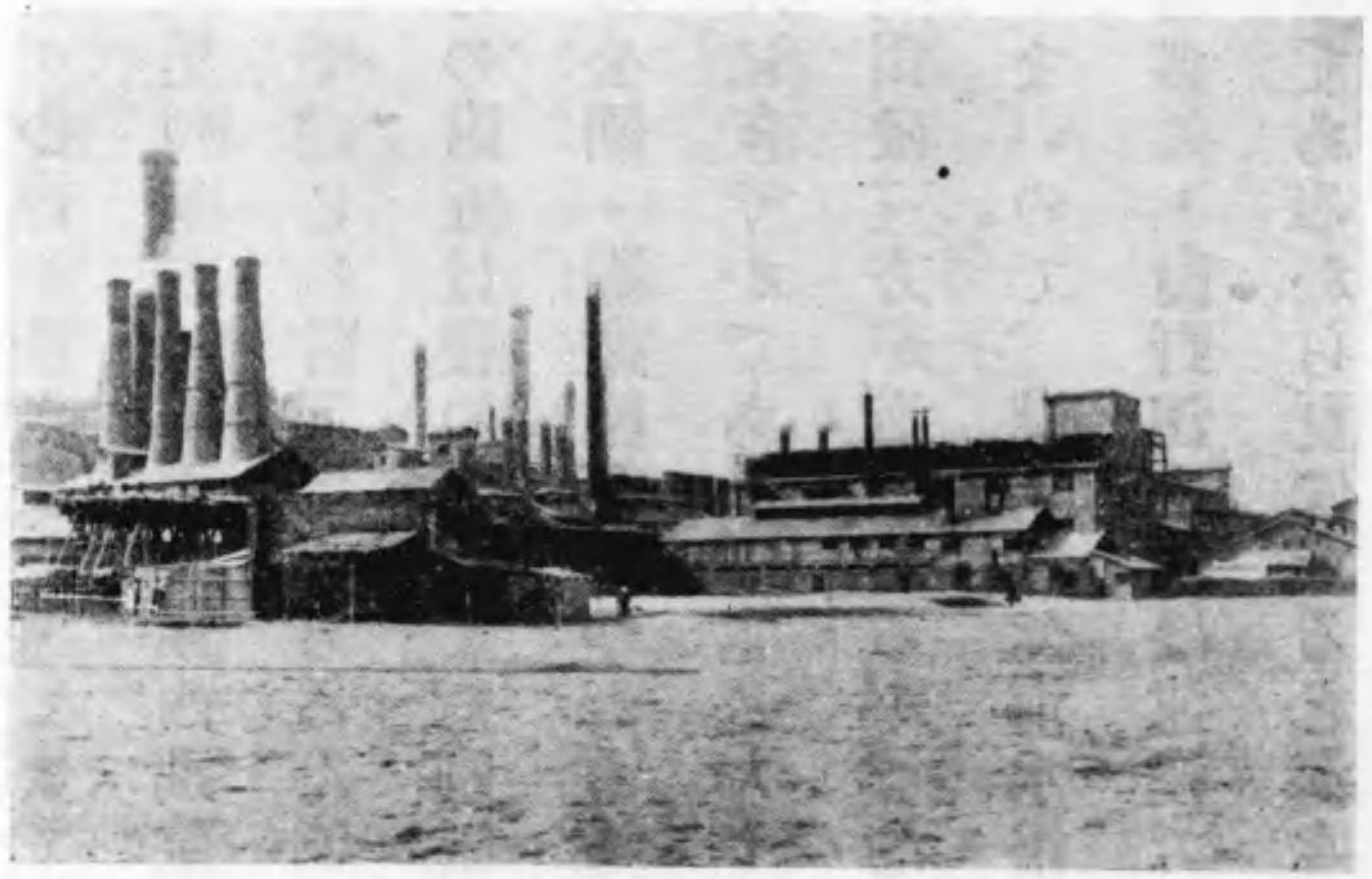
工場

その國道にそふて製粉・製糖・ビール等の大きな會社・工場が並んでゐる。ごう〳〵となりひゞく機械の音や原料・製品を運ぶ有様は實に目まぐるしい。

關門海底トンネル

大里東口の近くには關門海底トンネルの工事場があつて、ポ

大里諸工場



鎭西別院

ンプの音が晝も夜も遠くまで地ひゞきをたてゝゐる。

鎭西別院

大里の南方の山手に鎭西別院がある。西本願寺の九州別院として、この附近はもちろん遠方からお參りする信者が多い。

櫻の名所

この附近は櫻の名所で、別院をはじめ四季の里、不老園・柏木公園・豐樂園等いづれも遊園地として春の花盛りには大へんにぎやかである。

海水浴場

門司は三方が海であるが、港であるのと海岸の大部分が遠淺でないので、潮干狩や海水浴によい所が非常に少ない。たゞ喜多久・白野江の濱は遠淺で大里の松原と共に相當に設備がしてあるから夏になると海水浴でにぎやかである。

其他

近くの地獄谷礦泉や平山觀音・ゴルフ場・猿喰城址等も一日の遊びによい所である。

第九　市民としての覺悟

門司市について種々しらべて來たが私たちがよい市民となり、よい國民となるには私たちの鄕土である門司市をよく知り、その上日本の有樣をよく知つて、益々發展させねばならない。

今や門司市は滿洲帝國の發展と今後の東亞の有樣を考へて見るど益々重要な位置にあり、其の使命の一そう重大なことが

わかる。

今後の門司市をせおつて立つものは今の皆さんである、今までの市民が汗とあぶらを流してつくりあげたこの門司市、たくさんのほこりをもつてゐるこの門司市をもつと〳〵發展させることはいふまでもなく皆さんのつとめであり、せきにんである。

問題

附録

1地圖によつて門司市のまはりを調べなさい。
2地圖はどうして書いたものか説明しなさい。
3地圖に用ひてある記號を調べなさい。
4縮尺を用ひて實際の距離をはかりなさい。
5地圖を見て方位を調べなさい。
6近くの門司市の界を實地について調べなさい。
7世界地圖と日本地圖とを開いて門司がどんな位置にあるかを調べなさい。
8表門司の中央部に家のぎつしりつまつてゐるわけと、平家建の少いわけを考へなさい。
9これから後門司市はどちらの方面に主に家がたつでせう。

10 裏門司方面の人口の少いのはなぜでせうか。

11 門司市はなぜ商工業者が多いでせうか。

12 人口が大へん増した年と増したわけとを考へなさい。

13 關門海底トンネルが開通するとどちらの方面が發展するでせう。

14 門司市の略圖をゑがき地勢のもやうを色分けして記入なさい。

15 門司市に大きな山、大きな川、平野の少いのはなぜでせう。

16 門司市の町はどんなにならんでゐますか。

17 主な工場で出來た品物はどんなことに使はれるか調べなさい。

18 銀行、會社の主なるものを調べなさい。

19 市内で取引されてゐる品物にはどんなものがありますか。

20 水産業、農業の盛んでないのはなぜですか。

21 皆さんの家庭で門司の工場で出來た品物のどんなものが使はれてゐますか。

22 貿易の盛になつた理由を考へなさい。

23 開港から今日までの貿易額増減の理由を考へなさい。

24 輸出品と輸入品とをくらべて本市の工業とどんな關係があるか考へなさい。

25 門司と臺灣、朝鮮、滿洲國との貿易の盛になつた理由を考へなさい。

26 門司と臺灣、朝鮮、滿洲國との貿易品について調べなさい。

27 移出品と移入品とはどんな關係がありますか。

28 門司の陸上交通の發達した理由を考へなさい。

29 門司を中心として北九州五市間の汽車、電車、自動車の賃錢を調べなさい。

30 皆さんの學校から汽車、電車、自動車、道路を使つて一日に遠足の出來る所を略圖にかきなさい。

31 門司港が交通上どんな位置にあるかを考へなさい。

32 門司が港としてよいところと悪いところを調べなさい。

33 門司港を起點として地圖の上で世界一周をなさい。

34 主な汽船會社のしるしを調べなさい。

35 主な內國航路と外國航路を調べなさい。

36 門司停車場を出發點として市內巡りを地圖の中に記入しなさい。

37 市內にはどんな學校がありますか。

38 我々門司の市民としてどんな覺悟（カクゴ）が必要ですか。

附記

本書の修正に際しては出來るだけ最近の狀態を明かにしたいと考へましたが時局柄記事の一部及び統計等其筋の注意により割愛致しました。

昭和五年三月三十一日印刷
昭和五年四月一日發行
昭和七年四月一日再版
昭和八年四月一日三版
昭和九年四月一日四版
昭和十年四月一日五版
昭和十一年四月一日六版
昭和十四年八月一日七版

複製不許

【非賣品】

編纂者兼發行者　福岡縣教育會　門司教育支會
印刷者　門司市元清瀧町三丁目　江島和太郎
印刷所　門司市元清瀧町三丁目　江島日進堂工場
電話門司　長一四九番・一六九六番・二六五六番・二六六〇番
振替下關七六一〇番

昭和十四年六月十四日下關要塞司令部許可濟

399
356

終